

# 心身障害者扶養保険財務状況将来予測

～ 令和4年度決算データによる ～

令和5年11月10日（金）

心身障害者扶養保険事業財務状況検討会

独立行政法人 福祉医療機構

# 目 次

<b>I 将来予測等の概要</b> .....	1
<b>1 はじめに</b> .....	1
<b>2 将来予測の概要</b> .....	2
(1) 計算の前提 .....	2
① 基礎数値	
② 基礎率	
③ 将来の新規加入者数	
④ 保険料	
⑤ 公費負担	
⑥ 運用利回り	
(2) 人数の推移 .....	3
① 加入者数の推移	
② 年金受給者数の推移	
(3) 保険収支予測 .....	3
(4) 年金収支予測 .....	4
(5) 将来予測まとめ .....	4
<b>3 積立比率</b> .....	5
(1) 積立比率について .....	5
(2) 平成19年度以前加入者分にかかる積立比率について..	5
(3) 平成20年度以降加入者分にかかる積立比率について..	5
<b>4 責任準備金</b> .....	6
(1) 責任準備金の算定方法 .....	6
(2) 令和4年度の責任準備金 .....	6
(3) 欠損金について .....	6
<b>5 まとめ</b> .....	7
<b>II 令和4年度決算データによる将来予測結果（資料編）</b> .....	9
<b>1 計算の前提</b> .....	11
(1) 基礎数値 .....	11
(2) 基礎率 .....	12
(3) 将来の新規加入者数 .....	12
(4) 保険料 .....	12
(5) 公費負担 .....	13
(6) 運用利回り .....	13
<b>2 人数の推移</b> .....	14
(1) 加入者数の推移（新規加入者数1,000人の場合） .....	14
(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数1,000人の場合） ..	16
<b>3 保険収支予測</b> .....	18
<b>4 年金収支予測</b> .....	20

<b>参考 1</b> .....	2 3
○ 人数の推移.....	2 4
(1) 加入者数の推移（新規加入者数 2,000 人の場合） .....	2 4
(2) 年金受給者数の推移（新規加入者数 2,000 人の場合） .	2 6
○ 保険収支予測.....	2 8
○ 年金収支予測.....	3 0
<b>参考 2</b> .....	3 3
○ 人数の推移.....	3 4
(1) 加入者数の推移（現在加入者のみの場合） .....	3 4
(2) 年金受給者数の推移（現在加入者のみの場合） .....	3 6
○ 保険収支予測.....	3 8
○ 年金収支予測.....	4 0
5 積立比率について .....	4 2
6 責任準備金について（令和 4 年度末現在） .....	4 4
○ 心身障害者扶養保険事業財務状況検討会委員名簿 .....	4 5

# I 将来予測等の概要

---

## 1 はじめに

---

「心身障害者扶養保険事業財務状況検討会」は、心身障害者扶養保険事業の健全かつ安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、平成13年度以来、この事業の財政状況について、毎年度将来予測を実施し、長期的観点に立った分析検討による検証を行うとともに、加入者をはじめ、国、地方公共団体、障害者団体等の関係者に報告又は情報提供を行ってきた。

平成19年度には、本制度の安定的な運営を図るため、国において制度の在り方についての検討が行われ、平成20年4月から、保険料水準の見直し、公費による財政支援の延長等を骨子とした制度改正が実施された。

平成20年度以降、福祉医療機構の中期目標においても、「扶養保険事業の安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、毎年度、扶養保険事業の財政状況を検証するとともに、加入者等に対し公表すること。なお、国においては少なくとも5年ごとに保険料水準等の見直しを行うこととしていることから、機構は基礎数値等見直しに必要な情報を提供するとともに、将来的に当該事業の安定的な運営に支障が見込まれる場合には、厚生労働大臣に対しその旨を申し出ること。」とされている。

昨年度には、国において少なくとも5年ごとに実施することとされている保険料水準等の見直しが行われ、加入者死亡率や障害者死亡率等を見直した上で検討した結果、保険料水準等の制度を見直す必要性はないとされたが、安定的な運営を図り、将来にわたり障害者に対する年金給付を確実に行うため、毎年度、積立比率も用いて財政の健全性を検証し、その結果を公表するものとされた。

これを受け、本年度においては、加入者死亡率等の基礎率や運用利回りについて、昨年度の国における検証で用いられたものを使用し、基礎数値を令和4年度末の実績値に置き換え、将来予測を行った。

これらの将来予測結果等について、必要な情報を国へ提供していくこととする。

## 2 将来予測の概要

---

### (1) 計算の前提

国において少なくとも5年ごとに行われる保険料水準等の見直し後、毎年度、国の見直しの検討で用いられた加入者死亡率等の基礎率や運用利回りを用いて、その後の基礎数値等の実績値の変化がどう影響しているか、将来的にこの事業の安定的な運営に支障が見込まれるかどうかを検討することを検証の目的としている。

このため、前述のとおり本年度の財政状況の検証等については、昨年度の国の見直しの検討で用いられた同基礎率等を使用した将来予測を行った。

#### ① 基礎数値

加入者数等の基礎数値は、令和4年度末の実績値を用いた。

#### ② 基礎率（障害者死亡率、加入者死亡率等）

昨年度の国の見直しの検討に用いられた基礎率を用いた。

（「平成29～令和3年度実績」を基礎とし、責任準備金の算定の際に用いる率として国からの通知に示された率。）

#### ③ 将来の新規加入者数

令和5年度以降、新規加入者が毎年1,000人であるとして将来予測を行った。

（参考：令和元年度実績1,012人、令和2年度実績1,033人、  
令和3年度実績1,009人、令和4年度実績1,094人）

#### ④ 保険料

平成20年度改正後の加入者年齢区分毎の保険料を用いた。

#### ⑤ 公費負担

昨年度の国における検討を踏まえた国からの通知で示された公費負担の額及び期間を使用した。

具体的には、令和10年度まで保険収支及び年金収支にそれぞれ毎年46億円、令和11年度は保険収支31億円、年金収支61億円、令和12年度から令和34年度まで年金収支に毎年92億円、令和35年度に年金収支31億円とした。

#### ⑥ 運用利回り

運用利回りについては、保険収支、年金収支ともに1.5%として将来予測を行った。（責任準備金の算定の際に使用する予定利率として国からの通知に示された値）

上記の前提における将来予測を「メインシナリオ」としているが、当報告書においては、参考として「新規加入者数が毎年2,000人となるシナリオ」（21～28ページ）と、「新規加入者数が0人（現在加入者のみ）となるシナリオ」（29～36ページ）についても将来予測を行った。

なお、(2) 以降については、「メインシナリオ」について結果を記載している。

## (2) 人数の推移

### ① 加入者数の推移

加入者数は、令和4年度末では56,558人で、新規加入者数を毎年1,000人として推計すると、加入者死亡数、障害者死亡数、脱退者数の合計が新規加入者数(1,000人)を上回る令和31年度まで減少を続けるが、令和31年度末を底に、以後は緩やかに増加する。

これは、令和4年度末における加入者数の約84%を占める年齢の高い平成20年度改正前の加入者が、早い年次において死亡等により大幅に減少していくためである。

また、年齢の高い加入者の大幅な減少に伴い、平均年齢も令和4年度の74.3歳をピークにその後は徐々に低下する。

新規加入者と既加入者の死亡等による減少数が概ね均衡する令和32年度以降は、加入者数、平均年齢ともにほぼ横ばいとなる。

### ② 年金受給者数の推移

年金受給者数は、令和4年度末では58,865人で、新規裁定者数(新規年金受給者数)が加入者死亡数の減少に伴い減少を続け、令和14年度には失権者数(年金受給者死亡数)を下回るため、令和13年度末をピークにその後は減少する。

また、年金受給者数(約5万9千人)が加入者数(約5万7千人)を上回っており、この傾向は令和39年度末まで継続する。

年金受給者の平均年齢は令和4年度で63.3歳となっているが、以後、毎年徐々に上昇し、令和34年度の74.4歳をピークに、以後は緩やかに低下する。

## (3) 保険収支予測

公費以外の収入(保険料及び運用収入の合計)は概ねなだらかな増加傾向となる。

支出(保険金、弔慰金及び脱退一時金)は、主に加入者死亡数の減少に伴う保険金支出の減少等により、令和34年度まで減少を続けるが、その後は緩やかに増加し続ける。

収支差は、公費負担終了後の令和12年度から一時的にマイナス期間となるが、その後は保険料収入の増加や支出の減少に伴いマイナス幅が縮小し、令和21年度からは再びプラスに転じる。

保険資産は収支差に連動していることから、令和12年度から一時的に減少するが、令和21年度から再び増加に転じる。

#### (4) 年金収支予測

保険金収入は加入者死亡数の減少に伴い令和34年度まで減少するが、令和35年度以降は増加に転じる。

支出は年金受給者数の増加に伴い令和13年度まで増加するが、その後は徐々に減少傾向となる。

収支差は、令和5年度から11年度まではマイナスとなるが、公費投入額が増加する令和12年度から34年度の間はプラスとなる。その後、公費投入が終了する令和35年度から49年度まではマイナスとなるが、年金受給者数の減少による支出の減少傾向から、令和50年度以降、再びプラスに転じる。

年金資産は収支差に連動していることから、令和5年度から11年度では減少するが、令和12年度から34年度の間は増加する。その後公費投入の終了に合わせて令和35年度から49年度までは年金資産が減少することとなるが、保険金と運用収入の合計額は増加傾向であり、支出の減少傾向から、令和50年度以降再びプラスに転じる。

#### (5) 将来予測まとめ

新規加入者数を直近の実績と同程度となる毎年1,000人をメインシナリオとして将来予測を行い、財政状況を検証した結果、保険収支及び年金収支のいずれも昨年度の国の将来見通しと同様、制度が長期的に安定的に運営・持続できることを、本年度の将来予測から確認することができた。

また、新規加入者が増加した場合のシナリオとして現在の2倍を想定した「新規加入者数毎年2,000人」とリスクシナリオとなる「新規加入者数0人」の将来予測もあわせて試算し、メインシナリオ（毎年1,000人）と比較検証した。

新規加入者数を、本制度の普及が進み、毎年2,000人とした場合、保険収支及び年金収支の推移はメインシナリオ（毎年1,000人）と同じ動きとなるが、各年次で収支差がメインシナリオを上回っていることから、保険資産及び年金資産が大きく増加していくこととなる。

新規加入者数0人とした場合、保険収支及び年金収支はメインシナリオ（毎年1,000人）を下回り、保険資産及び年金資産は大きく減少していくこととなるが、両資産の枯渇までは見込まれない結果となった。

以上のことから、メインシナリオ（毎年1,000人）を中心とするいずれのシナリオにおいても制度が持続可能であることが確認できた。

### 3 積立比率

#### (1) 積立比率について

積立比率とは、仮に、次年度以降の保険料収入や公費投入を見込まなかったとした場合、これまで保険料を支払った分の給付を行うのに必要な額(過去期間分給付現価)のうち、年度末保有積立金で賄える割合を示すものである。数値は、「保険(年金)資産÷(給付現価－収入現価)」により算出し、「年度末保有積立金(保険資産または年金資産)÷年度末加入者または年度末受給者の過去期間分給付現価」に相当するものであり、その数値が「1」を上回っていれば、保険(年金)資産は、過去期間分保険金等(年金)給付現価を上回っていることから、過去期間分の給付が賄えるものと考えられる。

検証にあたっては、公費が投入されている平成19年度以前加入者分と、公費が投入されていない平成20年度以降加入者分に分けて行っている。

平成19年度以前加入者分については、公費を投入し段階的に「1」を確保することとしているため、昨年度に検討された国の将来見通しに対する令和4年度実績値との乖離状況について検証することとし、参考として運用利回りを0.25%(標準利率)としたケースについても検証している。

平成20年度以降加入者分については、公費投入がないため令和4年度実績で「1」を確保しているかについて検証した。

#### (2) 平成19年度以前加入者分にかかる積立比率について

令和4年度実績をみると、保険収支、年金収支ともに昨年度に示された国の将来見通しを上回っている。

##### 【運用利回り1.5%ケース】

国の将来見通し：保険収支：0.77      年金収支：0.25

令和4年度実績：保険収支：0.78      年金収支：0.26

##### 【運用利回り0.25%ケース(参考)】

国の将来見通し：保険収支：0.66      年金収支：0.20

令和4年度実績：保険収支：0.68      年金収支：0.21

#### (3) 平成20年度以降加入者分にかかる積立比率について

令和4年度実績をみると、運用利回り1.5%ケースにおいて保険収支、年金収支ともに「1」を上回っている。

##### 【運用利回り1.5%ケース】

[ 令和4年度実績：保険収支：1.18      年金収支：1.01 ]

##### 【運用利回り0.25%ケース(参考)】

[ 令和4年度実績：保険収支：0.97      年金収支：0.82 ]



## 4 責任準備金

---

### (1) 責任準備金の算定方法

毎事業年度末現在において積み立てるべき責任準備金は、厚生労働大臣が定めるところにより、「事業年度末現在における年金受給者について将来支給する年金の現価相当額（以下「年金の現価相当額」という。）」から、「当該年金受給者のうち平成20年4月1日前加入のものに係る年金の支払いに充当すべき公費負担による将来の保険金の現価相当額」（公費負担現価）を控除した額とされた。これは、次年度以降の公費投入を見込む事業年度末現在積み立てるべき金額である。

また、年金の現価相当額については、「年金受給者の年金額に年1.5%の予定利率及び別途定める障害者死亡率を基礎としてその者の年齢に応じて算出する年金現価率を乗じて計算した額を合算した額」とされている。

なお、昨年度の国の検討において、給付に必要な費用は加入者本人の保険料で賄うことが基本であることから、公費投入については、制度を長期にわたって安定的に運営することを前提とした上で、現状の利益剰余金・繰越欠損金を踏まえて考えることが必要であるとされた。

それを踏まえ、国からの通知において、令和4年度決算をもとに精査された公費投入額・期間が示されており、これに基づき公費負担現価を算定している。。

当該額・期間については、次期の見直しにおいて再度検証を行うこととされている。

### (2) 令和4年度の責任準備金

上記の方法により計算した年金の現価相当額は2,286億円、公費負担現価は1,591億円となり、令和4年度末決算における責任準備金は695億円となった。

なお、公費負担現価については、令和5年度以降の公費負担現価1,939億円のうち、受給者分を1,591億円、加入者分を348億円としている。

### (3) 欠損金について

過年度の繰越剰余金94億円等を踏まえて、公費投入の額及び期間が見直されたこと等から、令和4年度末における年金資産額694億円は責任準備金695億円を85百万円下回り、欠損金は85百万円となった。

## 5 まとめ

### 【結論】

心身障害者扶養保険事業の財政状況に関して、令和4年度実績による基礎数値を用いて以下の(1)から(3)について検証を行った。

#### (1) 将来予測

昨年度の国の見直しの検討で用いられた基礎率等を使用して、令和5年度以降1,000人の新規加入者をメインシナリオとする長期予測を実施し、保険資産・年金資産の枯渇は見込まれないことを確認した。

なお、併せて「新規加入者2,000人」及び「新規加入者0人」のシナリオによる長期予測を実施したが、いずれのシナリオにおいても保険資産・年金資産の枯渇は見込まれないことを確認した。

#### (2) 積立比率

①平成19年度以前加入者については、公費を段階的に投入しているため、昨年度の国の将来見通しと令和4年度実績との乖離状況について確認した。

②平成20年度以降加入者については、公費投入がないため、令和4年度実績で「積立比率1.00」を確保しているかについて確認した。

上記に関して、計算の前提である「運用利回り1.5%」のケースにおいて、保険収支・年金収支ともに①については昨年度の国の将来見通しを上回っていること、②については「積立比率1.00」を確保していることを確認した。

なお、併せて「運用利回りを0.25%（標準利率）」とするケースについても確認したところ、①は、昨年度の国の将来見通しを上回る結果であった。②は、昨年度の国の将来見通しと同様1.00を上回らない結果であった。

#### (3) 責任準備金及び欠損金

令和4年度の責任準備金は、公費投入の期間及び金額を見直したことや障害者死亡率・加入者死亡率等の基礎率を見直したこと等から、前年度から67億円増の695億円となり、繰越欠損金は85百万円となった。

#### (参考) 年金資産の運用

資産運用面については、令和4年度において、国内株式が堅調に推移する一方で、欧米を中心としたインフレ抑制のための利上げの影響等により、資産全体の運用利回りは▲0.56%となったものの、各資産毎のベンチマーク収益率は概ね確保している。また、第4期中期目標期間（過去5年平均）の平均収益率は1.78%となっており、厚生労働大臣の指示利回りを確保している状況。なお、令和5年度の資産運用委員会で実施した基本ポートフォリオの検証においても、現在の基本ポートフォリオを直ちに見直す必要はないことについて承認を得ている。

以上の令和5年度の財政検証結果等に基づき、将来における当該事業の安定的な運営について支障は見込まれないものとし、厚生労働大臣への申出は行わない。

最後に、本事業は多くの関係者がそれぞれの立場で制度を支えている仕組みであることに留意し、福祉医療機構としては、引き続き安全かつ効率的な運用を実施し、厚生労働大臣が指示する利回りの確保に努めるとともに、制度の実施主体である地方公共団体等関係者に十分な情報提供を行い、引き続き広報に積極的に取り組むことで新規加入者を増やす等、制度の長期で安定的な持続に努める必要がある。

## 令和4年度決算データによる将来予測結果（資料編）



## II 令和4年度決算データによる将来予測結果

### 1 計算の前提

#### ① 基礎数値

令和4年度末実績値

	全体	特例加入者 (注)	平成20年4月1日前の 加入者のうち特例加入 者以外の加入者	平成20年4月1日 以降加入者
加入者数	56,558人	12,960人	34,757人	8,841人
加入者平均年齢	74.2歳	84.0歳	75.3歳	55.7歳
障害者平均年齢	43.4歳	55.3歳	44.6歳	21.6歳
保険料免除者数	37,937人	12,949人	24,988人	0人
年金受給者数	58,865人	58,763人		102人
年金受給者平均年齢	63.3歳	63.3歳		36.7歳
保険資産	97,473,824千円			
年金資産	69,425,179千円			

(注) 第2次改正(昭和61年4月～)以前の旧第1保険(平成7年12月31日以前までの保険区分であって、加入者の年齢が45歳未満の者を対象とした保険)の1口目の加入者

② 基礎率

	算定基礎
障害者死亡率	平成29～令和3年度実績を基礎とし100歳まで以下の2つに区分け ・ 障害者男性 ・ 障害者女性
加入者死亡率	平成29～令和3年度実績を基礎とし105歳まで以下の2つに区分け ・ 加入者男性 ・ 加入者女性
脱 退 率	平成29～令和3年度実績を基礎とし64歳まで

③ 将来の新規加入者数

新規加入者数	毎年度1,000人
--------	-----------

加入者及び障害者の年齢分布、男女比率は過去5か年実績平均を用いている。

※参考として、「現在加入者のみ」（今後新規加入者がゼロであっても制度を維持できるかどうかを参考検証）及び「毎年度2,000人」の場合も推計した。

④ 保険料

(単位：円)

加入時年齢 (注)	特例加入者 (注)	平成20年4月1日前の 加入者のうち特例加入 者以外の加入者	平成20年4月1日 以降加入者
35歳未満	5,600	5,600	9,300
35歳以上40歳未満	6,900	6,900	11,400
40歳以上45歳未満	8,700	8,700	14,300
45歳以上50歳未満	10,600	10,600	17,300
50歳以上55歳未満	10,600	11,600	18,800
55歳以上60歳未満	10,600	12,800	20,700
60歳以上65歳未満	10,600	14,500	23,300

(注) 特例加入者については、昭和61年4月1日現在の年齢

⑤ 公費負担

	令和5～10年度	令和11年度	令和12～34年度	令和35年度
特例保険料	46億円	31億円	—	—
特例保険金	46億円	61億円	92億円	31億円

⑥ 運用利回り

保険収支	: 1.5%
年金収支	: 1.5%

※積立比率の算出ケースとしてのみ使用

保険収支	: 0.25%
年金収支	: 0.25%

(参考1) 弔慰金給付保険金

(単位:円)

加入期間	平成20年3月31日以前加入者	平成20年4月1日以降加入者
1年以上～5年未満	30,000	50,000
5年以上～20年未満	75,000	125,000
20年以上	150,000	250,000

(参考2) 脱退一時金給付保険金

(単位:円)

加入期間	平成20年3月31日以前加入者	平成20年4月1日以降加入者
5年以上～10年未満	45,000	75,000
10年以上～20年未満	75,000	125,000
20年以上	150,000	250,000



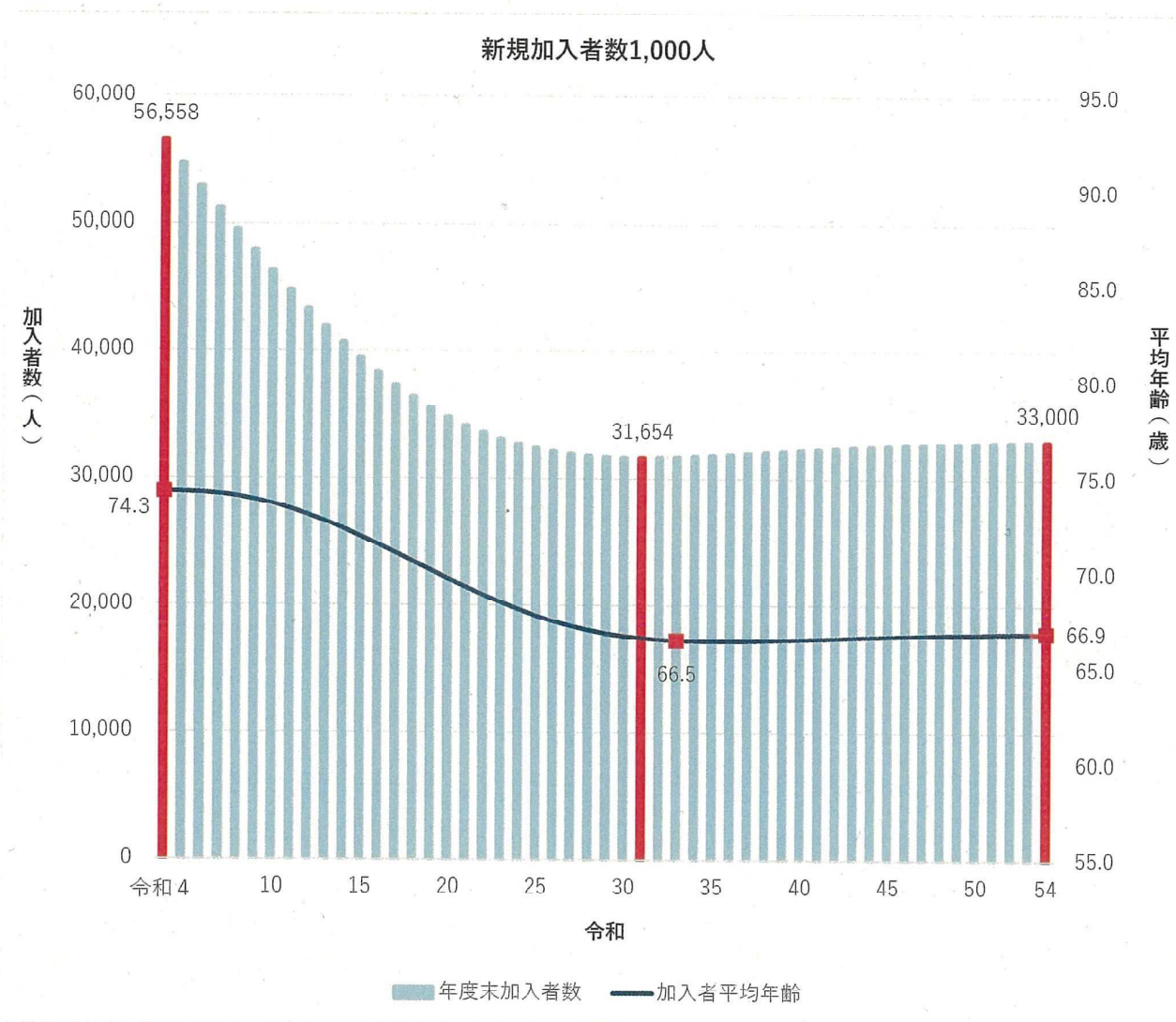
## 2 人数の推移

### (1) 加入者数の推移（新規加入者数1,000人の場合）

(単位：人，歳)

年次	年度 令和	年度 西暦	年度始 加入者数	新規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年度末 加入者数	保険料 免除者数	平均年齢
0	4	2022						56,558	37,937	74.3
1	5	2023	56,558	1,000	2,437	335	67	54,719	36,222	74.3
2	6	2024	54,719	1,000	2,359	328	68	52,963	34,694	74.3
3	7	2025	52,963	1,000	2,338	322	68	51,235	33,297	74.2
4	8	2026	51,235	1,000	2,305	316	68	49,545	31,870	74.0
5	9	2027	49,545	1,000	2,265	308	69	47,903	30,499	73.9
6	10	2028	47,903	1,000	2,219	300	70	46,315	30,020	73.7
7	11	2029	46,315	1,000	2,163	291	70	44,791	28,447	73.4
8	12	2030	44,791	1,000	2,101	281	71	43,338	26,656	73.1
9	13	2031	43,338	1,000	2,033	271	72	41,963	24,950	72.8
10	14	2032	41,963	1,000	1,958	260	73	40,672	23,252	72.4
11	15	2033	40,672	1,000	1,880	249	73	39,470	21,701	72.0
12	16	2034	39,470	1,000	1,799	238	74	38,360	20,171	71.5
13	17	2035	38,360	1,000	1,718	226	75	37,341	18,696	71.1
14	18	2036	37,341	1,000	1,636	215	76	36,415	17,425	70.7
15	19	2037	36,415	1,000	1,554	204	76	35,581	16,207	70.2
16	20	2038	35,581	1,000	1,472	193	76	34,840	15,307	69.7
17	21	2039	34,840	1,000	1,392	182	76	34,190	14,564	69.3
18	22	2040	34,190	1,000	1,314	172	77	33,627	13,936	68.9
19	23	2041	33,627	1,000	1,240	163	77	33,147	13,400	68.5
20	24	2042	33,147	1,000	1,169	154	77	32,747	12,914	68.1
21	25	2043	32,747	1,000	1,103	146	77	32,420	13,158	67.8
22	26	2044	32,420	1,000	1,043	139	78	32,161	12,822	67.5
23	27	2045	32,161	1,000	989	132	78	31,962	12,574	67.3
24	28	2046	31,962	1,000	940	126	78	31,818	12,421	67.1
25	29	2047	31,818	1,000	896	121	78	31,723	12,298	66.9
26	30	2048	31,723	1,000	858	116	78	31,670	12,223	66.8
27	31	2049	31,670	1,000	826	112	78	31,654	12,196	66.6
28	32	2050	31,654	1,000	798	109	78	31,668	12,183	66.6
29	33	2051	31,668	1,000	778	107	78	31,704	12,207	66.5
30	34	2052	31,704	1,000	764	105	78	31,757	12,234	66.5
31	35	2053	31,757	1,000	752	103	78	31,824	12,289	66.5
32	36	2054	31,824	1,000	742	102	78	31,902	12,351	66.5
33	37	2055	31,902	1,000	736	101	79	31,986	12,425	66.5
34	38	2056	31,986	1,000	733	100	79	32,074	12,501	66.5
35	39	2057	32,074	1,000	732	100	79	32,163	12,580	66.6
36	40	2058	32,163	1,000	734	100	79	32,251	12,658	66.6
37	41	2059	32,251	1,000	736	101	79	32,336	12,733	66.6
38	42	2060	32,336	1,000	739	101	79	32,417	12,805	66.7
39	43	2061	32,417	1,000	743	102	78	32,493	12,872	66.7
40	44	2062	32,493	1,000	748	103	78	32,564	12,932	66.7
41	45	2063	32,564	1,000	753	103	78	32,629	12,987	66.8
42	46	2064	32,629	1,000	757	104	78	32,689	13,036	66.8
43	47	2065	32,689	1,000	762	105	78	32,744	13,080	66.8
44	48	2066	32,744	1,000	766	106	78	32,793	13,119	66.8
45	49	2067	32,793	1,000	771	107	78	32,838	13,153	66.9
46	50	2068	32,838	1,000	774	107	78	32,878	13,182	66.9
47	51	2069	32,878	1,000	778	108	78	32,913	13,208	66.9
48	52	2070	32,913	1,000	781	109	78	32,945	13,229	66.9
49	53	2071	32,945	1,000	784	109	78	32,974	13,247	66.9
50	54	2072	32,974	1,000	786	110	78	33,000	13,262	66.9

○ 加入者数と平均年齢の推移（新規加入者数1,000人の場合）



概要

- ・ 加入者数は、加入者死亡数、障害者死亡数、脱退者数の合計が新規加入者数（1,000人）を上回る令和31年度まで減少を続けるが、令和31年度末を底に、以後は緩やかに増加する。
- ・ これは令和4年度末における加入者数の約84%を占める年齢の高い平成20年度改正前の加入者が、早い年次において死亡等により大幅に減少していくためである。また、年齢の高い加入者の大幅な減少に伴い、平均年齢も令和4年度の74.3歳をピークにその後は徐々に低下する。
- ・ 新規加入者数と既加入者の死亡等による減少数が概ね均衡する令和32年度以降は、加入者数、平均年齢ともにほぼ横ばいとなる。

（注）「平均年齢」の考え方

各年度の加入者平均年齢は加入者が制度に加入してからの加入期間と密接にリンクしている。

- ・ 加入者平均年齢が高い場合は「加入期間の長い高齢な加入者の構成比率が高い（加入者死亡数（年金受給者への移行）が多くなる）」と考えられる。
- ・ 加入者平均年齢が低い場合は「加入期間の短い比較的若い加入者の構成比率が高い（加入者死亡数（年金受給者への移行）が少なくなる）」と考えられる。

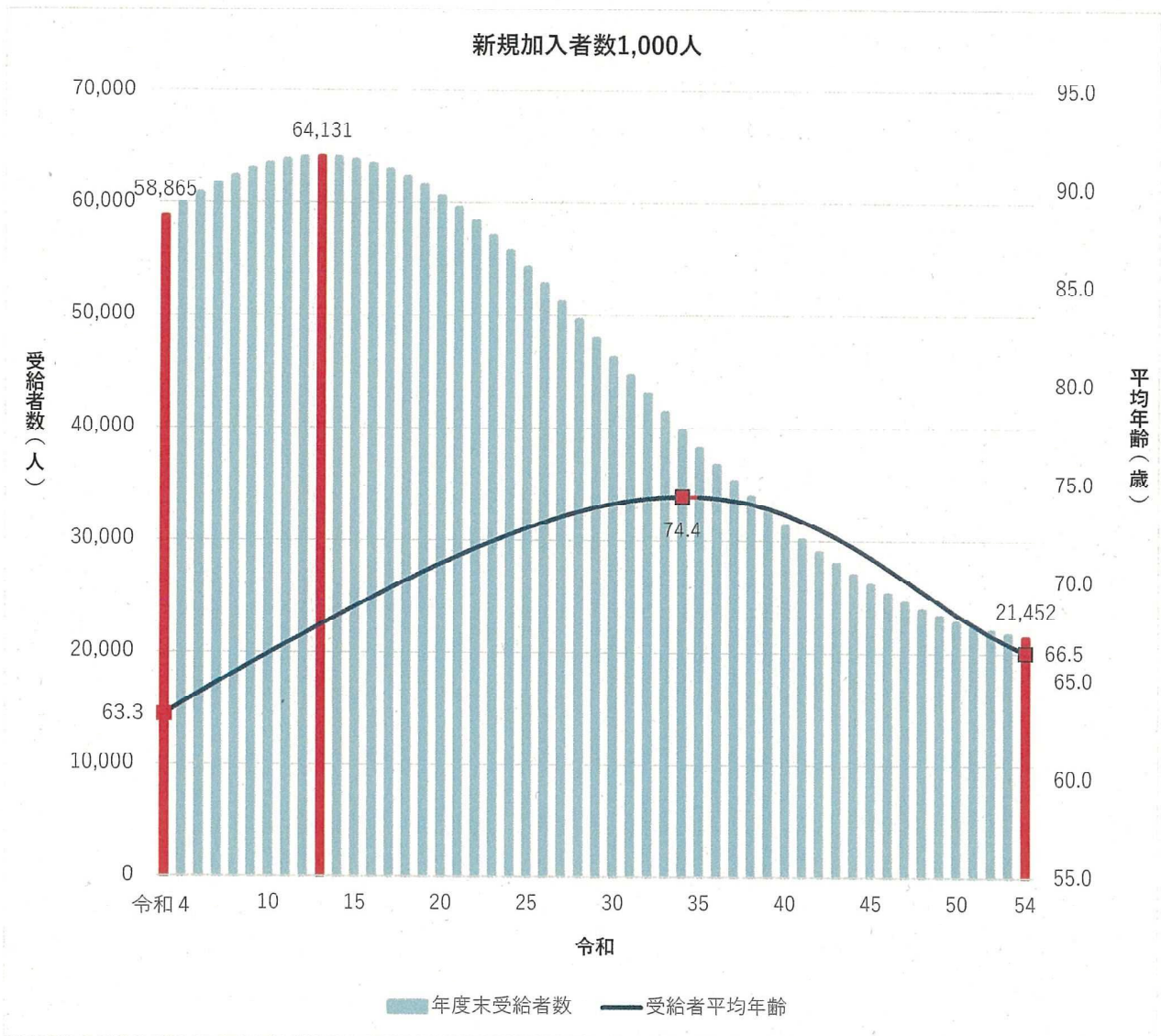
※「新規加入者2,000人」の推計の場合も同様の考え方である。

(2) 年金受給者数の推移 (新規加入者数1,000人の場合)

(単位:人,歳,%)

年次	年度		年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
	令和	西暦						
0	4	2022				58,865	63.3	104.1
1	5	2023	58,865	2,437	1,355	59,947	63.8	109.6
2	6	2024	59,947	2,359	1,429	60,877	64.3	114.9
3	7	2025	60,877	2,338	1,508	61,707	64.9	120.4
4	8	2026	61,707	2,305	1,586	62,426	65.4	126.0
5	9	2027	62,426	2,265	1,663	63,028	65.9	131.6
6	10	2028	63,028	2,219	1,740	63,506	66.4	137.1
7	11	2029	63,506	2,163	1,817	63,853	66.9	142.6
8	12	2030	63,853	2,101	1,891	64,063	67.3	147.8
9	13	2031	64,063	2,033	1,964	64,131	67.8	152.8
10	14	2032	64,131	1,958	2,034	64,055	68.3	157.5
11	15	2033	64,055	1,880	2,102	63,832	68.8	161.7
12	16	2034	63,832	1,799	2,168	63,463	69.2	165.4
13	17	2035	63,463	1,718	2,231	62,950	69.7	168.6
14	18	2036	62,950	1,636	2,292	62,294	70.1	171.1
15	19	2037	62,294	1,554	2,349	61,499	70.5	172.8
16	20	2038	61,499	1,472	2,398	60,573	70.9	173.9
17	21	2039	60,573	1,392	2,442	59,523	71.3	174.1
18	22	2040	59,523	1,314	2,481	58,356	71.7	173.5
19	23	2041	58,356	1,240	2,514	57,082	72.1	172.2
20	24	2042	57,082	1,169	2,537	55,713	72.4	170.1
21	25	2043	55,713	1,103	2,551	54,266	72.8	167.4
22	26	2044	54,266	1,043	2,556	52,753	73.1	164.0
23	27	2045	52,753	989	2,551	51,190	73.4	160.2
24	28	2046	51,190	940	2,548	49,582	73.6	155.8
25	29	2047	49,582	896	2,542	47,936	73.8	151.1
26	30	2048	47,936	858	2,522	46,272	74.0	146.1
27	31	2049	46,272	826	2,489	44,608	74.2	140.9
28	32	2050	44,608	798	2,448	42,959	74.3	135.7
29	33	2051	42,959	778	2,400	41,338	74.3	130.4
30	34	2052	41,338	764	2,349	39,752	74.4	125.2
31	35	2053	39,752	752	2,298	38,206	74.3	120.1
32	36	2054	38,206	742	2,242	36,706	74.3	115.1
33	37	2055	36,706	736	2,180	35,263	74.2	110.2
34	38	2056	35,263	733	2,119	33,877	74.0	105.6
35	39	2057	33,877	732	2,061	32,549	73.8	101.2
36	40	2058	32,549	734	1,996	31,286	73.5	97.0
37	41	2059	31,286	736	1,929	30,093	73.1	93.1
38	42	2060	30,093	739	1,861	28,971	72.7	89.4
39	43	2061	28,971	743	1,790	27,925	72.3	85.9
40	44	2062	27,925	748	1,727	26,946	71.8	82.7
41	45	2063	26,946	753	1,646	26,053	71.3	79.8
42	46	2064	26,053	757	1,571	25,240	70.7	77.2
43	47	2065	25,240	762	1,496	24,506	70.1	74.8
44	48	2066	24,506	766	1,418	23,853	69.5	72.7
45	49	2067	23,853	771	1,348	23,276	69.0	70.9
46	50	2068	23,276	774	1,282	22,768	68.4	69.3
47	51	2069	22,768	778	1,204	22,342	67.8	67.9
48	52	2070	22,342	781	1,141	21,982	67.3	66.7
49	53	2071	21,982	784	1,085	21,681	66.9	65.8
50	54	2072	21,681	786	1,015	21,452	66.5	65.0

○ 受給者数と平均年齢の推移（新規加入者数1,000人の場合）



概要

- 年金受給者数は令和4年度末では58,865人で、新規裁定者数（新規年金受給者数）が加入者死亡数の減少に伴い減少を続け、令和14年度には失権者数（年金受給者死亡数）を下回るため、令和13年度末をピークにその後は減少する。
- また、年金受給者数（約5万9千人）が加入者数（約5万7千人）を上回っており、この傾向は令和39年度末まで継続する。
- 年金受給者の平均年齢は、令和4年度で63.3歳となっているが、以後、毎年徐々に上昇し、令和34年度の74.4歳をピークに以後は緩やかに低下する。

(注) 「平均年齢」の考え方

各年度の受給者平均年齢は加入者が死亡してからの年金受給期間と密接にリンクしている。

- 受給者平均年齢が高い場合は「今後の受給期間の短い高齢な受給者の構成比率が高い（失権者数（受給者の死亡による年金受給権の失権）が多くなる）」と考えられる。
- 受給者平均年齢が低い場合は「今後の受給期間の長い比較的若い受給者の構成比率が高い（失権者数（受給者の死亡による年金受給権の失権）が少なくなる）」と考えられる。

※「新規加入者2,000人」の推計の場合も同様の考え方である。

### 3 保険収支予測

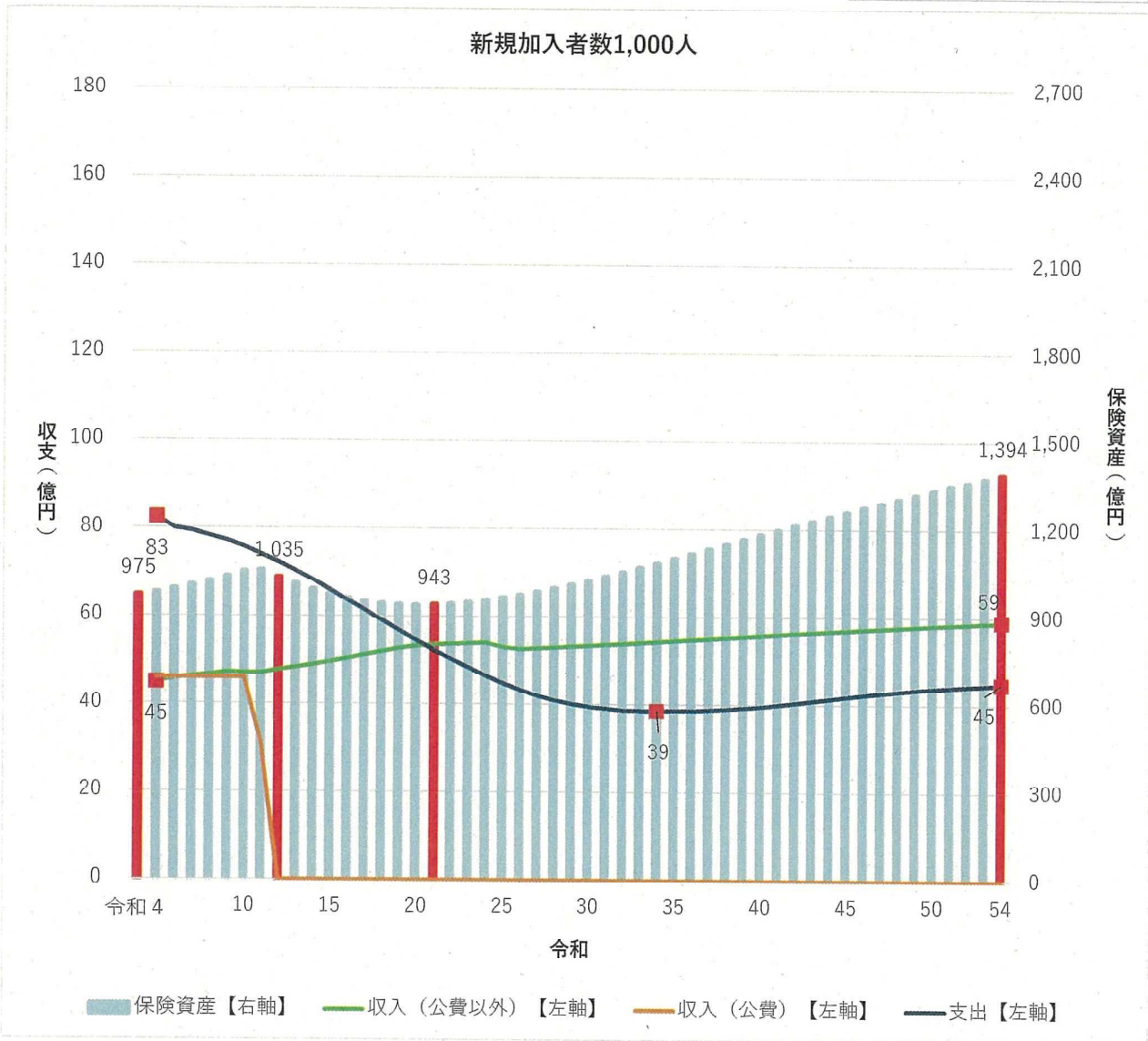
○ 運用利回り 1.5% (新規加入者数1,000人の場合)

(単位：百万円)

年次	年度		収入				支出計 (保険金、弔慰金、 脱退一時金)	収支差引額	保険資産
	令和	西暦	収入計	保険料	公費負担	運用収入			
0	4	2022						97,474	
1	5	2023	9,100	3,077	4,600	1,423	8,261	839	98,313
2	6	2024	9,181	3,143	4,600	1,438	8,008	1,174	99,486
3	7	2025	9,228	3,172	4,600	1,457	7,943	1,285	100,771
4	8	2026	9,273	3,196	4,600	1,477	7,832	1,441	102,212
5	9	2027	9,322	3,222	4,600	1,500	7,721	1,601	103,813
6	10	2028	9,313	3,188	4,600	1,524	7,580	1,732	105,546
7	11	2029	7,808	3,157	3,100	1,551	7,409	399	105,944
8	12	2030	4,779	3,220	0	1,559	7,234	-2,456	103,489
9	13	2031	4,838	3,313	0	1,525	7,032	-2,194	101,295
10	14	2032	4,903	3,409	0	1,494	6,828	-1,925	99,369
11	15	2033	4,973	3,506	0	1,467	6,600	-1,626	97,743
12	16	2034	5,047	3,601	0	1,445	6,369	-1,322	96,421
13	17	2035	5,129	3,701	0	1,428	6,153	-1,023	95,397
14	18	2036	5,207	3,792	0	1,415	5,919	-712	94,686
15	19	2037	5,282	3,875	0	1,407	5,692	-410	94,275
16	20	2038	5,338	3,936	0	1,403	5,465	-126	94,149
17	21	2039	5,364	3,962	0	1,403	5,245	120	94,269
18	22	2040	5,382	3,976	0	1,406	5,036	345	94,614
19	23	2041	5,398	3,985	0	1,413	4,851	547	95,161
20	24	2042	5,418	3,996	0	1,422	4,657	761	95,923
21	25	2043	5,316	3,882	0	1,434	4,487	830	96,752
22	26	2044	5,269	3,822	0	1,447	4,341	928	97,680
23	27	2045	5,292	3,829	0	1,462	4,207	1,084	98,765
24	28	2046	5,311	3,832	0	1,479	4,109	1,202	99,967
25	29	2047	5,331	3,833	0	1,498	4,021	1,310	101,277
26	30	2048	5,353	3,835	0	1,518	3,960	1,393	102,670
27	31	2049	5,375	3,836	0	1,539	3,916	1,459	104,129
28	32	2050	5,399	3,837	0	1,562	3,871	1,527	105,656
29	33	2051	5,423	3,838	0	1,585	3,865	1,558	107,214
30	34	2052	5,447	3,839	0	1,608	3,859	1,588	108,802
31	35	2053	5,472	3,840	0	1,632	3,875	1,597	110,399
32	36	2054	5,496	3,841	0	1,656	3,870	1,627	112,025
33	37	2055	5,521	3,841	0	1,680	3,885	1,636	113,661
34	38	2056	5,545	3,841	0	1,704	3,907	1,638	115,299
35	39	2057	5,570	3,841	0	1,729	3,935	1,635	116,934
36	40	2058	5,594	3,841	0	1,753	3,959	1,635	118,570
37	41	2059	5,618	3,841	0	1,777	4,006	1,612	120,182
38	42	2060	5,642	3,841	0	1,801	4,050	1,592	121,773
39	43	2061	5,665	3,841	0	1,825	4,100	1,565	123,338
40	44	2062	5,688	3,841	0	1,848	4,148	1,541	124,879
41	45	2063	5,711	3,841	0	1,871	4,195	1,516	126,395
42	46	2064	5,733	3,841	0	1,893	4,241	1,493	127,888
43	47	2065	5,756	3,841	0	1,915	4,283	1,472	129,360
44	48	2066	5,777	3,841	0	1,937	4,322	1,455	130,815
45	49	2067	5,799	3,841	0	1,958	4,359	1,440	132,255
46	50	2068	5,820	3,841	0	1,980	4,391	1,429	133,684
47	51	2069	5,841	3,841	0	2,001	4,420	1,422	135,106
48	52	2070	5,863	3,841	0	2,022	4,445	1,418	136,524
49	53	2071	5,884	3,841	0	2,043	4,467	1,417	137,941
50	54	2072	5,905	3,841	0	2,064	4,486	1,419	139,360

○ 保険収支と保険資産の推移（新規加入者数1,000人の場合）

<公費>	
R 4 ~ R 1 0	: 4 6 億 円
R 1 1	: 3 1 億 円
R 1 2 ~	: ( な し )



概要

- ・ 公費以外の収入（保険料及び運用収入の合計）は、概ねなだらかな増加傾向となる。
- ・ 支出（保険金、弔慰金及び脱退一時金）は、主に加入者死亡数の減少に伴う保険金支出の減少等により、令和34年度まで減少を続けるが、その後は緩やかに増加し続ける。
- ・ 収支差は、公費負担終了後の令和12年度から一時的にマイナス期間となるが、その後は保険料収入の増加や支出の減少に伴い縮小し、令和21年度からは再びプラスに転じる。
- ・ 保険資産は収支差に連動していることから、令和12年度から一時的に減少するが、令和21年度からは再び増加に転じる。

#### 4 年金収支予測

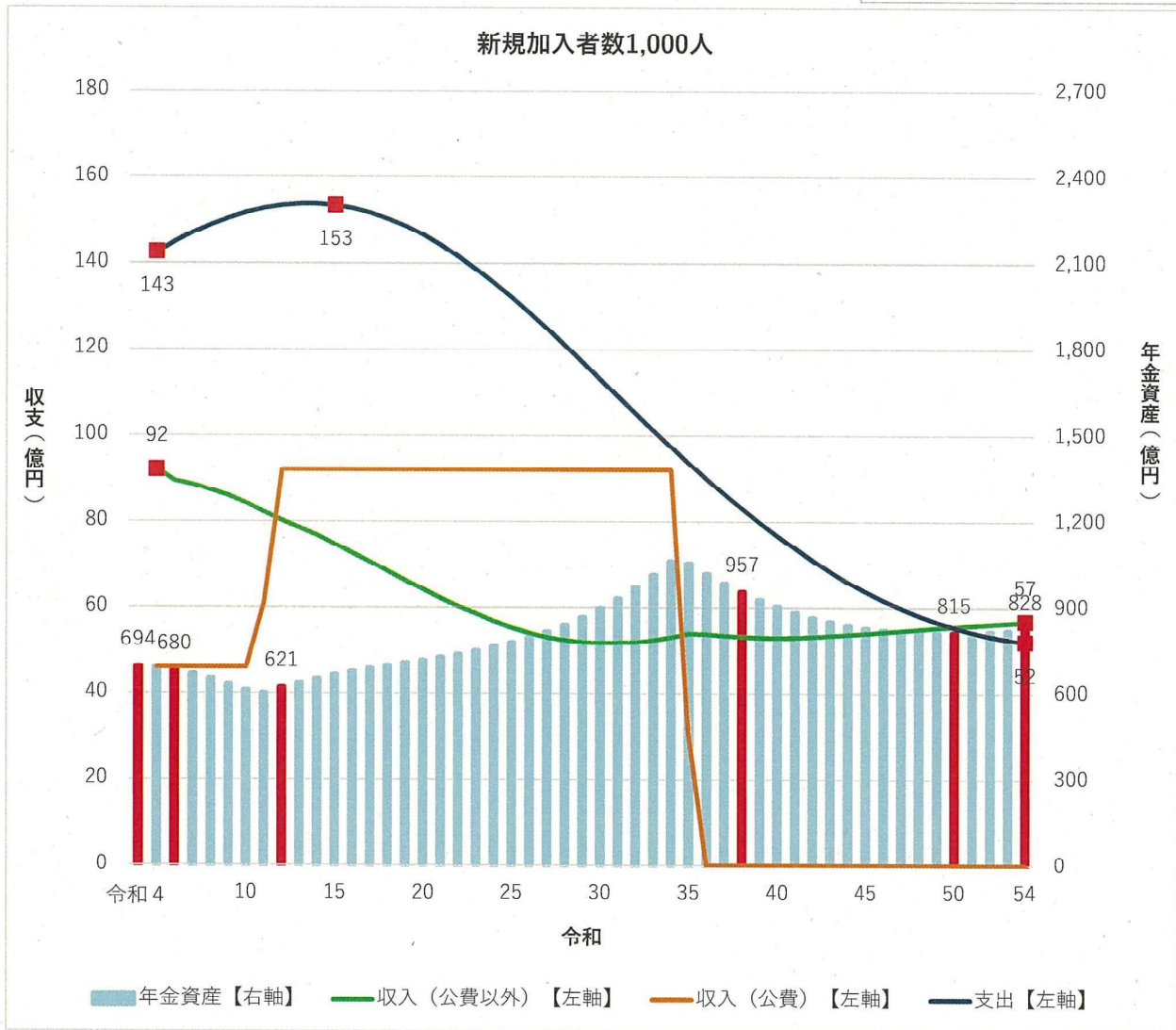
○ 運用利回り 1.5% (新規加入者数1,000人の場合)

(単位：百万円)

年次	年度		収入				支出	収支差引額	年金資産
	令和	西暦	収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	4	2022						69,425	
1	5	2023	13,806	8,210	4,600	996	14,257	-451	68,974
2	6	2024	13,543	7,957	4,600	986	14,499	-956	68,018
3	7	2025	13,463	7,893	4,600	969	14,710	-1,247	66,770
4	8	2026	13,330	7,782	4,600	948	14,896	-1,566	65,204
5	9	2027	13,195	7,672	4,600	923	15,055	-1,860	63,345
6	10	2028	13,025	7,532	4,600	893	15,184	-2,160	61,185
7	11	2029	14,320	7,361	6,100	859	15,283	-963	60,222
8	12	2030	17,230	7,188	9,200	842	15,350	1,880	62,102
9	13	2031	17,055	6,987	9,200	869	15,383	1,672	63,774
10	14	2032	16,877	6,785	9,200	892	15,383	1,494	65,268
11	15	2033	16,670	6,557	9,200	913	15,347	1,324	66,592
12	16	2034	16,460	6,328	9,200	932	15,276	1,184	67,776
13	17	2035	16,262	6,113	9,200	949	15,170	1,092	68,868
14	18	2036	16,046	5,881	9,200	965	15,030	1,016	69,884
15	19	2037	15,835	5,656	9,200	980	14,856	979	70,863
16	20	2038	15,624	5,430	9,200	994	14,650	974	71,838
17	21	2039	15,420	5,211	9,200	1,009	14,413	1,007	72,845
18	22	2040	15,228	5,004	9,200	1,024	14,147	1,082	73,927
19	23	2041	15,061	4,819	9,200	1,041	13,854	1,207	75,134
20	24	2042	14,887	4,626	9,200	1,060	13,537	1,350	76,483
21	25	2043	14,739	4,457	9,200	1,082	13,199	1,540	78,023
22	26	2044	14,619	4,312	9,200	1,107	12,844	1,774	79,797
23	27	2045	14,514	4,179	9,200	1,135	12,476	2,038	81,836
24	28	2046	14,449	4,081	9,200	1,168	12,096	2,353	84,189
25	29	2047	14,399	3,994	9,200	1,205	11,705	2,694	86,883
26	30	2048	14,381	3,933	9,200	1,248	11,309	3,073	89,955
27	31	2049	14,387	3,890	9,200	1,297	10,910	3,477	93,433
28	32	2050	14,397	3,845	9,200	1,352	10,513	3,884	97,317
29	33	2051	14,452	3,839	9,200	1,413	10,121	4,331	101,648
30	34	2052	14,514	3,833	9,200	1,481	9,736	4,778	106,426
31	35	2053	8,504	3,849	3,100	1,555	9,361	-857	105,569
32	36	2054	5,389	3,844	0	1,545	8,996	-3,608	101,961
33	37	2055	5,352	3,859	0	1,494	8,644	-3,292	98,669
34	38	2056	5,328	3,881	0	1,447	8,305	-2,978	95,692
35	39	2057	5,313	3,908	0	1,405	7,980	-2,667	93,025
36	40	2058	5,299	3,932	0	1,367	7,670	-2,371	90,654
37	41	2059	5,313	3,979	0	1,334	7,377	-2,063	88,590
38	42	2060	5,329	4,023	0	1,306	7,100	-1,771	86,819
39	43	2061	5,354	4,072	0	1,282	6,841	-1,487	85,333
40	44	2062	5,381	4,119	0	1,261	6,599	-1,218	84,115
41	45	2063	5,412	4,167	0	1,245	6,375	-963	83,151
42	46	2064	5,444	4,212	0	1,233	6,172	-727	82,424
43	47	2065	5,477	4,254	0	1,223	5,987	-510	81,914
44	48	2066	5,510	4,293	0	1,217	5,822	-312	81,602
45	49	2067	5,543	4,329	0	1,214	5,676	-133	81,469
46	50	2068	5,574	4,361	0	1,213	5,547	27	81,496
47	51	2069	5,604	4,389	0	1,215	5,437	167	81,663
48	52	2070	5,632	4,414	0	1,218	5,344	289	81,952
49	53	2071	5,659	4,436	0	1,223	5,266	393	82,345
50	54	2072	5,684	4,455	0	1,230	5,204	481	82,826

○ 年金収支と年金資産の推移（新規加入者数1,000人の場合）

<公費>	
R 5 ~ R 1 0	: 4 6 億円
R 1 1	: 6 1 億円
R 1 2 ~ R 3 4	: 9 2 億円
R 3 5	: 3 1 億円
R 3 6 ~	: (なし)



概要

- ・ 保険金収入は加入者死亡数の減少に伴い令和34年度まで減少するが、令和35年度以降は増加に転じる。
- ・ 支出は年金受給者数の増加に伴い令和13年度まで増加するが、その後は徐々に減少傾向となる。
- ・ 収支差は、令和5年度から11年度ではマイナスとなるが、公費投入額が増加する令和12年度から34年度の間はプラスとなる。その後、公費投入が終了する令和35年度から49年度まではマイナスとなるが、令和50年度以降、再びプラスに転じる。
- ・ 年金資産は、収支差に連動していることから、令和5年度から11年度では減少するが、令和12年度から34年度の間は増加する。その後公費投入の終了に合わせて令和35年度から令和49年度までは年金資産が減少することとなるが、保険金と運用収入の合計額は増加傾向であることから、令和50年度以降再びプラスに転じる。





参考 1

新規加入者数2,000人の場合

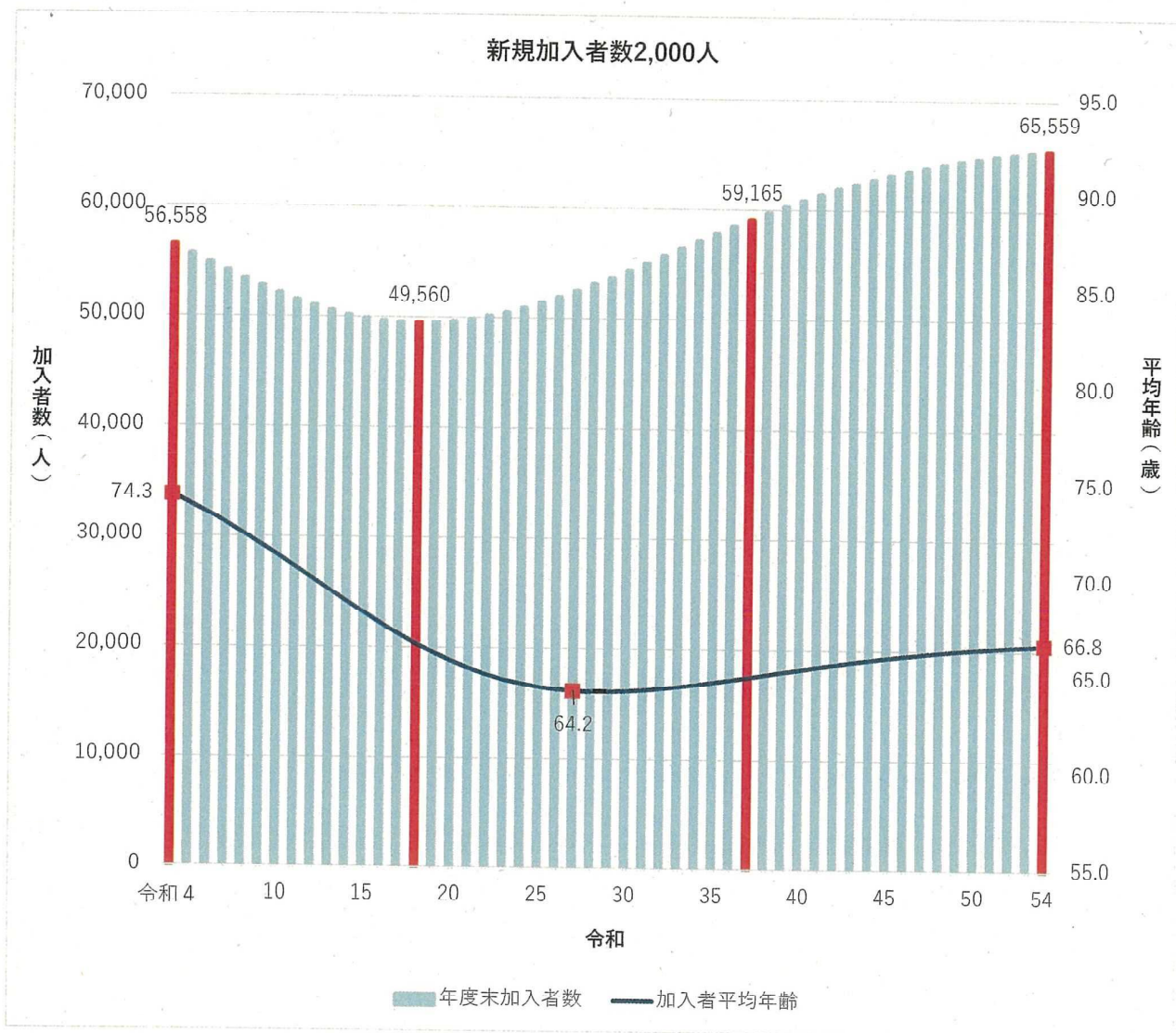
○ 人数の推移

(1) 加入者数の推移 (新規加入者数2,000人の場合)

(単位:人,歳)

年次	年度		年度始 加入者数	新規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年度末 加入者数	保険料 免除者数	平均年齢
	令和	西暦								
0	4	2022					56,558	37,937	74.3	
1	5	2023	56,558	2,000	2,439	336	72	55,711	36,222	73.8
2	6	2024	55,711	2,000	2,363	331	77	54,940	34,694	73.4
3	7	2025	54,940	2,000	2,344	326	82	54,188	33,297	72.9
4	8	2026	54,188	2,000	2,313	320	87	53,467	31,870	72.3
5	9	2027	53,467	2,000	2,276	314	93	52,784	30,499	71.8
6	10	2028	52,784	2,000	2,232	307	97	52,148	30,020	71.2
7	11	2029	52,148	2,000	2,179	299	102	51,569	28,447	70.6
8	12	2030	51,569	2,000	2,120	290	107	51,052	26,656	70.0
9	13	2031	51,052	2,000	2,055	281	112	50,604	24,950	69.4
10	14	2032	50,604	2,000	1,985	271	116	50,233	23,252	68.8
11	15	2033	50,233	2,000	1,910	261	121	49,941	21,701	68.2
12	16	2034	49,941	2,000	1,834	251	125	49,732	20,171	67.7
13	17	2035	49,732	2,000	1,758	240	129	49,604	18,696	67.1
14	18	2036	49,604	2,000	1,682	230	133	49,560	17,425	66.6
15	19	2037	49,560	2,000	1,606	220	136	49,598	16,207	66.2
16	20	2038	49,598	2,000	1,531	211	139	49,718	15,307	65.8
17	21	2039	49,718	2,000	1,457	202	141	49,918	14,564	65.4
18	22	2040	49,918	2,000	1,388	193	144	50,193	13,936	65.1
19	23	2041	50,193	2,000	1,322	186	146	50,539	13,400	64.8
20	24	2042	50,539	2,000	1,261	179	148	50,951	12,914	64.6
21	25	2043	50,951	2,000	1,206	172	150	51,424	13,689	64.4
22	26	2044	51,424	2,000	1,157	167	151	51,949	13,920	64.3
23	27	2045	51,949	2,000	1,114	162	153	52,519	14,263	64.2
24	28	2046	52,519	2,000	1,079	159	154	53,128	14,703	64.2
25	29	2047	53,128	2,000	1,049	156	155	53,768	15,169	64.2
26	30	2048	53,768	2,000	1,027	153	155	54,432	15,706	64.2
27	31	2049	54,432	2,000	1,011	152	156	55,114	16,301	64.3
28	32	2050	55,114	2,000	1,002	151	156	55,805	16,910	64.4
29	33	2051	55,805	2,000	1,000	151	156	56,497	17,547	64.5
30	34	2052	56,497	2,000	1,006	152	157	57,183	18,169	64.6
31	35	2053	57,183	2,000	1,014	153	157	57,859	18,805	64.7
32	36	2054	57,859	2,000	1,027	154	157	58,521	19,431	64.9
33	37	2055	58,521	2,000	1,044	156	157	59,165	20,049	65.0
34	38	2056	59,165	2,000	1,064	158	157	59,786	20,645	65.1
35	39	2057	59,786	2,000	1,088	161	157	60,380	21,218	65.3
36	40	2058	60,380	2,000	1,113	164	157	60,946	21,763	65.4
37	41	2059	60,946	2,000	1,141	167	157	61,481	22,278	65.6
38	42	2060	61,481	2,000	1,170	170	157	61,984	22,762	65.7
39	43	2061	61,984	2,000	1,199	174	157	62,454	23,211	65.8
40	44	2062	62,454	2,000	1,229	178	157	62,890	23,626	66.0
41	45	2063	62,890	2,000	1,259	182	157	63,292	24,007	66.1
42	46	2064	63,292	2,000	1,288	185	157	63,662	24,356	66.2
43	47	2065	63,662	2,000	1,317	189	157	63,998	24,671	66.3
44	48	2066	63,998	2,000	1,345	193	157	64,304	24,955	66.4
45	49	2067	64,304	2,000	1,372	196	157	64,579	25,209	66.4
46	50	2068	64,579	2,000	1,397	200	157	64,825	25,435	66.5
47	51	2069	64,825	2,000	1,421	203	157	65,044	25,633	66.6
48	52	2070	65,044	2,000	1,443	206	157	65,239	25,806	66.7
49	53	2071	65,239	2,000	1,464	208	157	65,409	25,956	66.7
50	54	2072	65,409	2,000	1,483	211	157	65,559	26,084	66.8

○ 加入者数と平均年齢の推移（新規加入者数2,000人の場合）



概要

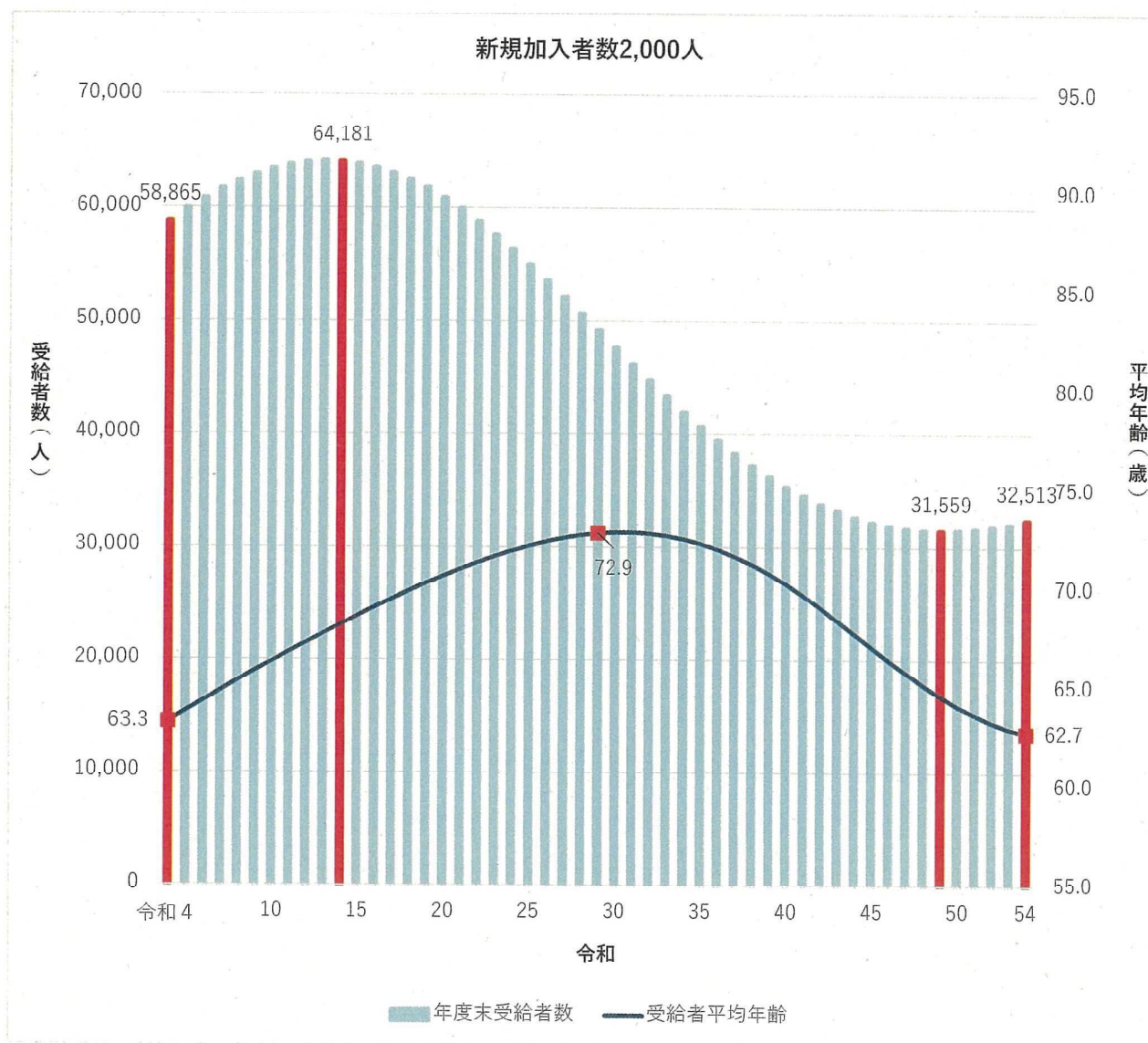
- ・ 加入者数は、加入者死亡数、障害者死亡数、脱退者数の合計が新規加入者数（2,000人）を上回る令和18年度まで減少を続けるが、令和18年度末を底に以後は増加を続け、令和34年度末には令和4年度末を超える水準まで回復する。
- ・ 加入者の平均年齢は、令和4年度の74.3歳をピークに、その後は徐々に低下するが、令和27年度の64.2歳以後は、緩やかに上昇する。

(2) 年金受給者数の推移 (新規加入者数2,000人の場合)

(単位:人,歳,%)

年次	年度		年度始年金 受給者数	新 規 裁定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
	令和	西暦						
0	4	2022				58,865	63.3	104.1
1	5	2023	58,865	2,439	1,355	59,948	63.8	107.6
2	6	2024	59,948	2,363	1,429	60,882	64.3	110.8
3	7	2025	60,882	2,344	1,508	61,718	64.8	113.9
4	8	2026	61,718	2,313	1,586	62,445	65.3	116.8
5	9	2027	62,445	2,276	1,663	63,058	65.8	119.5
6	10	2028	63,058	2,232	1,741	63,549	66.3	121.9
7	11	2029	63,549	2,179	1,817	63,911	66.8	123.9
8	12	2030	63,911	2,120	1,891	64,140	67.3	125.6
9	13	2031	64,140	2,055	1,964	64,231	67.8	126.9
10	14	2032	64,231	1,985	2,034	64,181	68.2	127.8
11	15	2033	64,181	1,910	2,103	63,989	68.7	128.1
12	16	2034	63,989	1,834	2,169	63,654	69.1	128.0
13	17	2035	63,654	1,758	2,232	63,181	69.5	127.4
14	18	2036	63,181	1,682	2,292	62,571	69.9	126.3
15	19	2037	62,571	1,606	2,349	61,827	70.3	124.7
16	20	2038	61,827	1,531	2,399	60,959	70.7	122.6
17	21	2039	60,959	1,457	2,443	59,974	71.0	120.1
18	22	2040	59,974	1,388	2,482	58,879	71.4	117.3
19	23	2041	58,879	1,322	2,515	57,687	71.7	114.1
20	24	2042	57,687	1,261	2,539	56,409	72.0	110.7
21	25	2043	56,409	1,206	2,553	55,062	72.2	107.1
22	26	2044	55,062	1,157	2,557	53,661	72.4	103.3
23	27	2045	53,661	1,114	2,554	52,222	72.6	99.4
24	28	2046	52,222	1,079	2,551	50,750	72.8	95.5
25	29	2047	50,750	1,049	2,546	49,254	72.9	91.6
26	30	2048	49,254	1,027	2,526	47,754	72.9	87.7
27	31	2049	47,754	1,011	2,494	46,271	72.9	84.0
28	32	2050	46,271	1,002	2,453	44,820	72.8	80.3
29	33	2051	44,820	1,000	2,406	43,414	72.7	76.8
30	34	2052	43,414	1,006	2,357	42,063	72.6	73.6
31	35	2053	42,063	1,014	2,307	40,771	72.3	70.5
32	36	2054	40,771	1,027	2,253	39,545	72.0	67.6
33	37	2055	39,545	1,044	2,192	38,396	71.7	64.9
34	38	2056	38,396	1,064	2,134	37,326	71.3	62.4
35	39	2057	37,326	1,088	2,078	36,336	70.8	60.2
36	40	2058	36,336	1,113	2,016	35,433	70.3	58.1
37	41	2059	35,433	1,141	1,953	34,621	69.7	56.3
38	42	2060	34,621	1,170	1,889	33,902	69.1	54.7
39	43	2061	33,902	1,199	1,822	33,279	68.4	53.3
40	44	2062	33,279	1,229	1,764	32,744	67.8	52.1
41	45	2063	32,744	1,259	1,689	32,314	67.1	51.1
42	46	2064	32,314	1,288	1,620	31,982	66.4	50.2
43	47	2065	31,982	1,317	1,553	31,746	65.8	49.6
44	48	2066	31,746	1,345	1,483	31,608	65.2	49.2
45	49	2067	31,608	1,372	1,421	31,559	64.6	48.9
46	50	2068	31,559	1,397	1,365	31,591	64.1	48.7
47	51	2069	31,591	1,421	1,297	31,715	63.7	48.8
48	52	2070	31,715	1,443	1,245	31,913	63.3	48.9
49	53	2071	31,913	1,464	1,202	32,175	63.0	49.2
50	54	2072	32,175	1,483	1,145	32,513	62.7	49.6

○ 受給者数と平均年齢の推移（新規加入者数2,000人の場合）



概要

- ・ 新規裁定者数（新規年金受給者数）は加入者死亡数の減少に伴い減少を続け、令和14年度に失権者数を下回るが、令和33年度を底に以後は増加に転じ、令和50年度に失権者数を再び上回る。このため、年金受給者数は令和14年度まで年々増加し、令和14年度末をピークとして、その後は減少を続けるが、令和49年度末を底に再び増加に転じる。
- ・ また、年金受給者数（約5万9千人）が加入者数（約5万7千人）を上回っており、この傾向は令和26年度まで継続する。
- ・ 年金受給者の平均年齢は、毎年徐々に上昇し、令和30年度の72.4歳をピークに以後は緩やかに低下する。

○ 保険収支予測

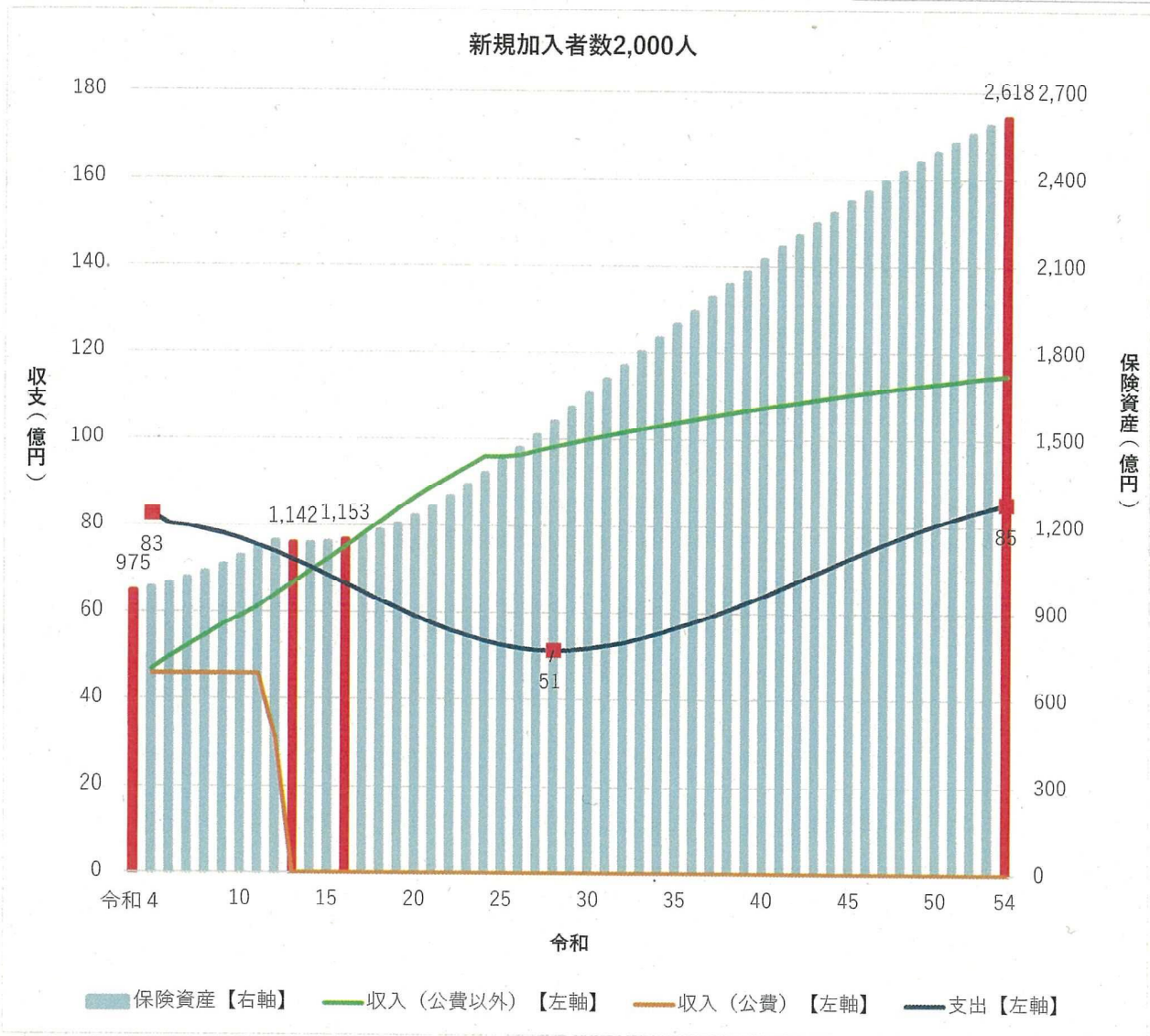
・運用利回り 1.5% (新規加入者数2,000人の場合)

(単位：百万円)

年次	年度		収入				支出計 (保険金、弔慰金、 脱退一時金)	収支差引額	保険資産
	令和	西暦	収入計	保険料	公費負担	運用収入			
0	4	2022						97,474	
1	5	2023	9,298	3,274	4,600	1,425	8,277	1,021	98,495
2	6	2024	9,581	3,538	4,600	1,444	8,040	1,542	100,037
3	7	2025	9,832	3,763	4,600	1,469	7,993	1,838	101,875
4	8	2026	10,080	3,981	4,600	1,499	7,901	2,179	104,054
5	9	2027	10,334	4,201	4,600	1,534	7,811	2,524	106,578
6	10	2028	10,532	4,358	4,600	1,574	7,693	2,839	109,417
7	11	2029	10,735	4,516	4,600	1,619	7,546	3,189	112,606
8	12	2030	9,514	4,767	3,100	1,647	7,398	2,116	114,722
9	13	2031	6,682	5,047	0	1,636	7,224	-541	114,180
10	14	2032	6,958	5,328	0	1,631	7,051	-93	114,088
11	15	2033	7,240	5,607	0	1,633	6,856	384	114,471
12	16	2034	7,525	5,882	0	1,642	6,661	863	115,335
13	17	2035	7,820	6,161	0	1,659	6,484	1,336	116,670
14	18	2036	8,111	6,429	0	1,682	6,293	1,818	118,488
15	19	2037	8,399	6,686	0	1,713	6,111	2,287	120,776
16	20	2038	8,669	6,919	0	1,750	5,934	2,735	123,511
17	21	2039	8,909	7,115	0	1,794	5,767	3,142	126,653
18	22	2040	9,140	7,296	0	1,843	5,617	3,523	130,176
19	23	2041	9,369	7,471	0	1,898	5,493	3,876	134,052
20	24	2042	9,602	7,643	0	1,959	5,367	4,235	138,287
21	25	2043	9,597	7,574	0	2,023	5,270	4,327	142,614
22	26	2044	9,636	7,548	0	2,088	5,203	4,433	147,047
23	27	2045	9,738	7,583	0	2,155	5,154	4,583	151,630
24	28	2046	9,831	7,607	0	2,224	5,146	4,685	156,315
25	29	2047	9,922	7,627	0	2,294	5,154	4,768	161,083
26	30	2048	10,010	7,645	0	2,366	5,194	4,816	165,899
27	31	2049	10,093	7,656	0	2,437	5,257	4,836	170,736
28	32	2050	10,173	7,664	0	2,510	5,323	4,850	175,586
29	33	2051	10,251	7,670	0	2,581	5,432	4,819	180,404
30	34	2052	10,327	7,674	0	2,653	5,545	4,782	185,187
31	35	2053	10,401	7,678	0	2,724	5,681	4,720	189,907
32	36	2054	10,473	7,680	0	2,794	5,800	4,673	194,580
33	37	2055	10,543	7,681	0	2,863	5,941	4,603	199,183
34	38	2056	10,612	7,681	0	2,931	6,089	4,523	203,705
35	39	2057	10,679	7,681	0	2,997	6,245	4,434	208,139
36	40	2058	10,744	7,681	0	3,063	6,398	4,346	212,485
37	41	2059	10,808	7,681	0	3,127	6,575	4,233	216,718
38	42	2060	10,870	7,681	0	3,189	6,749	4,121	220,839
39	43	2061	10,930	7,681	0	3,249	6,929	4,001	224,840
40	44	2062	10,989	7,681	0	3,308	7,106	3,883	228,723
41	45	2063	11,046	7,681	0	3,365	7,281	3,764	232,488
42	46	2064	11,101	7,681	0	3,420	7,453	3,648	236,136
43	47	2065	11,155	7,681	0	3,474	7,618	3,536	239,672
44	48	2066	11,206	7,681	0	3,525	7,777	3,430	243,102
45	49	2067	11,257	7,681	0	3,576	7,928	3,328	246,430
46	50	2068	11,306	7,681	0	3,625	8,070	3,235	249,666
47	51	2069	11,353	7,681	0	3,672	8,203	3,150	252,816
48	52	2070	11,399	7,681	0	3,718	8,325	3,074	255,890
49	53	2071	11,445	7,681	0	3,764	8,438	3,007	258,897
50	54	2072	11,489	7,681	0	3,808	8,540	2,949	261,845

○ 保険収支と保険資産の推移（新規加入者数2,000人の場合）

<公費>	
R 4 ~ R 1 0	: 4 6 億円
R 1 1	: 3 1 億円
R 1 2 ~	: (なし)



概要

- ・ 公費以外の収入（保険料及び運用収入の合計）は、概ね増加傾向となる。
- ・ 支出（保険金、弔慰金及び脱退一時金）は、主に加入者死亡数の減少に伴う保険金支出の減少等により、令和28年度まで減少を続けるが、その後は増加し続ける。
- ・ 保険資産は収支差に連動し、公費負担終了後の令和13及び14年度は一時的に減少するが、1,000人推計よりも6年早い令和15年度からは再び増加に転じる。



○ 年金収支予測

・運用利回り 1.5% (新規加入者数2,000人の場合)

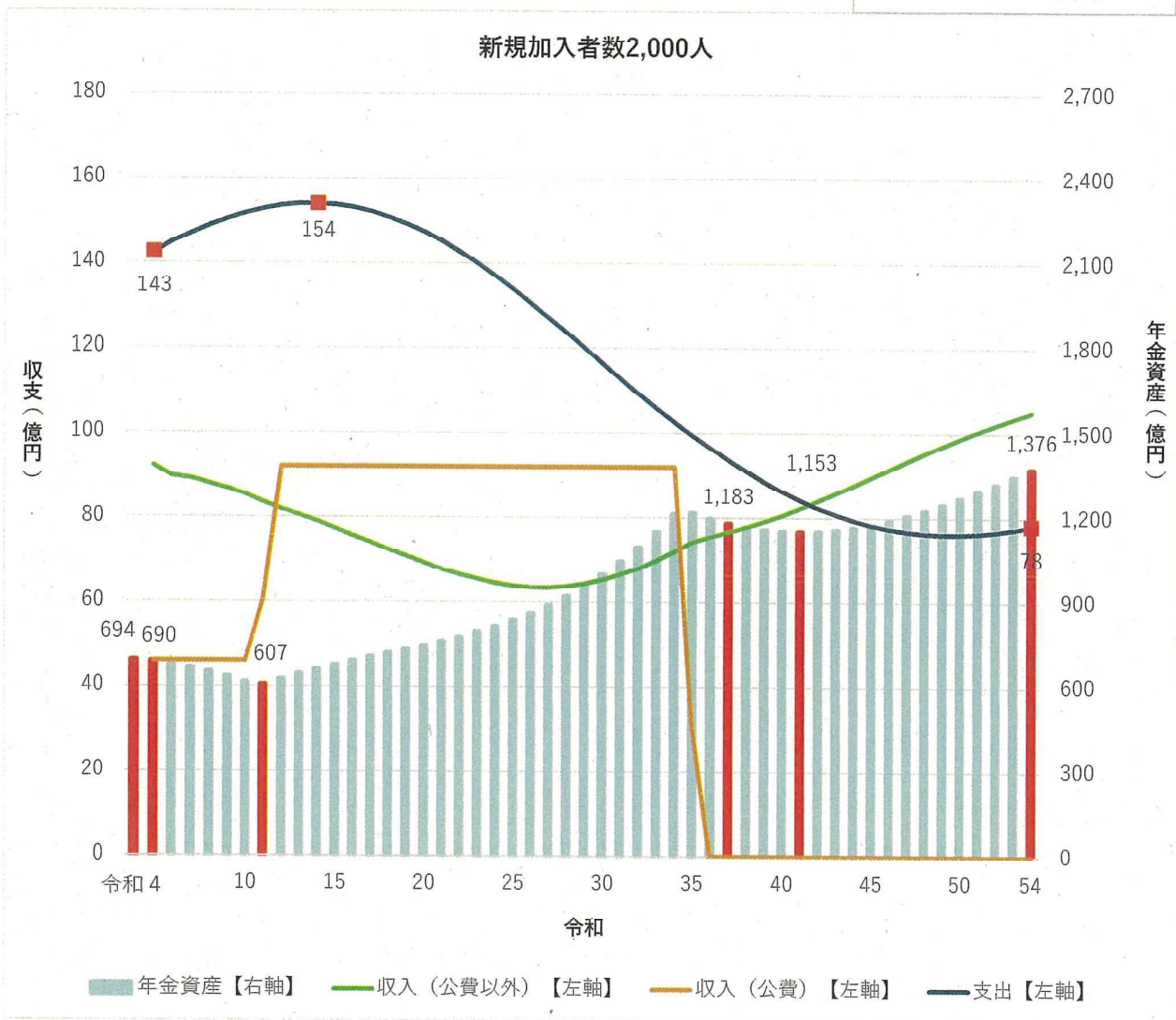
(単位:百万円)

年次	年度		収入				支出	収支差引額	年金資産
	令和	西暦	収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	4	2022						69,425	
1	5	2023	13,822	8,225	4,600	996	14,258	-436	68,989
2	6	2024	13,575	7,989	4,600	986	14,500	-925	68,064
3	7	2025	13,513	7,943	4,600	970	14,712	-1,199	66,866
4	8	2026	13,401	7,851	4,600	950	14,900	-1,498	65,368
5	9	2027	13,288	7,762	4,600	926	15,060	-1,773	63,595
6	10	2028	13,141	7,643	4,600	898	15,193	-2,052	61,543
7	11	2029	14,462	7,497	6,100	865	15,295	-833	60,709
8	12	2030	17,400	7,350	9,200	851	15,366	2,034	62,743
9	13	2031	17,256	7,177	9,200	880	15,405	1,851	64,595
10	14	2032	17,111	7,005	9,200	906	15,410	1,701	66,296
11	15	2033	16,941	6,810	9,200	930	15,381	1,560	67,855
12	16	2034	16,770	6,617	9,200	953	15,318	1,452	69,307
13	17	2035	16,615	6,441	9,200	974	15,221	1,393	70,700
14	18	2036	16,445	6,250	9,200	994	15,092	1,353	72,054
15	19	2037	16,285	6,070	9,200	1,015	14,929	1,355	73,409
16	20	2038	16,128	5,893	9,200	1,035	14,736	1,392	74,801
17	21	2039	15,984	5,727	9,200	1,056	14,514	1,470	76,270
18	22	2040	15,857	5,578	9,200	1,079	14,265	1,592	77,862
19	23	2041	15,759	5,455	9,200	1,104	13,991	1,768	79,630
20	24	2042	15,661	5,329	9,200	1,132	13,695	1,966	81,596
21	25	2043	15,595	5,232	9,200	1,163	13,380	2,215	83,811
22	26	2044	15,563	5,165	9,200	1,198	13,051	2,512	86,323
23	27	2045	15,554	5,116	9,200	1,238	12,711	2,843	89,166
24	28	2046	15,591	5,107	9,200	1,283	12,362	3,228	92,394
25	29	2047	15,650	5,115	9,200	1,334	12,007	3,643	96,037
26	30	2048	15,747	5,155	9,200	1,392	11,648	4,099	100,136
27	31	2049	15,874	5,218	9,200	1,457	11,291	4,583	104,719
28	32	2050	16,012	5,283	9,200	1,529	10,940	5,072	109,792
29	33	2051	16,200	5,392	9,200	1,608	10,598	5,602	115,393
30	34	2052	16,399	5,504	9,200	1,695	10,268	6,130	121,524
31	35	2053	10,530	5,639	3,100	1,791	9,953	578	122,101
32	36	2054	7,560	5,757	0	1,802	9,652	-2,092	120,009
33	37	2055	7,671	5,897	0	1,774	9,368	-1,697	118,313
34	38	2056	7,797	6,045	0	1,752	9,103	-1,307	117,006
35	39	2057	7,935	6,200	0	1,735	8,858	-923	116,083
36	40	2058	8,076	6,352	0	1,724	8,633	-556	115,527
37	41	2059	8,246	6,527	0	1,719	8,429	-183	115,344
38	42	2060	8,420	6,701	0	1,719	8,247	173	115,517
39	43	2061	8,603	6,880	0	1,724	8,088	516	116,032
40	44	2062	8,789	7,055	0	1,734	7,951	838	116,870
41	45	2063	8,978	7,230	0	1,749	7,838	1,141	118,011
42	46	2064	9,168	7,400	0	1,768	7,749	1,419	119,430
43	47	2065	9,355	7,565	0	1,791	7,683	1,672	121,102
44	48	2066	9,539	7,722	0	1,817	7,641	1,898	123,000
45	49	2067	9,719	7,872	0	1,847	7,621	2,098	125,098
46	50	2068	9,893	8,014	0	1,879	7,622	2,271	127,369
47	51	2069	10,060	8,145	0	1,914	7,643	2,416	129,786
48	52	2070	10,218	8,267	0	1,951	7,685	2,533	132,319
49	53	2071	10,368	8,379	0	1,990	7,743	2,626	134,945
50	54	2072	10,510	8,481	0	2,029	7,818	2,692	137,637

○ 年金収支と年金資産の推移（新規加入者数2,000人の場合）

<公費>

R 5 ~R 1 0	: 4 6 億円
R 1 1	: 6 1 億円
R 1 2~R 3 4	: 9 2 億円
R 3 5	: 3 1 億円
R 3 6~	: (なし)



概要

- ・ 保険金収入は加入者死亡数の減少に伴い令和28年度までは減少するが、加入者死亡数の底（令和33年度）に近づく令和29年度以降は増加する。
  - ・ 支出は年金受給者数の増加に伴い令和14年度まで増加するが、その後は徐々に減少傾向となる。
  - ・ 年金資産は収支差に連動し、令和5年度から令和11年度では減少するが、公費投入額が増加する令和12年度から35年度の間は増加する。
- その後、公費の投入が令和35年度で終了するため、収支差がマイナスとなることから、令和36年度から令和41年度までは年金資産が減少することとなるが、保険金と運用収入の合計額は増加傾向であることから、年金資産全体から見ると、僅かな減少に留まる。



参考 2

現在加入者のみの場合

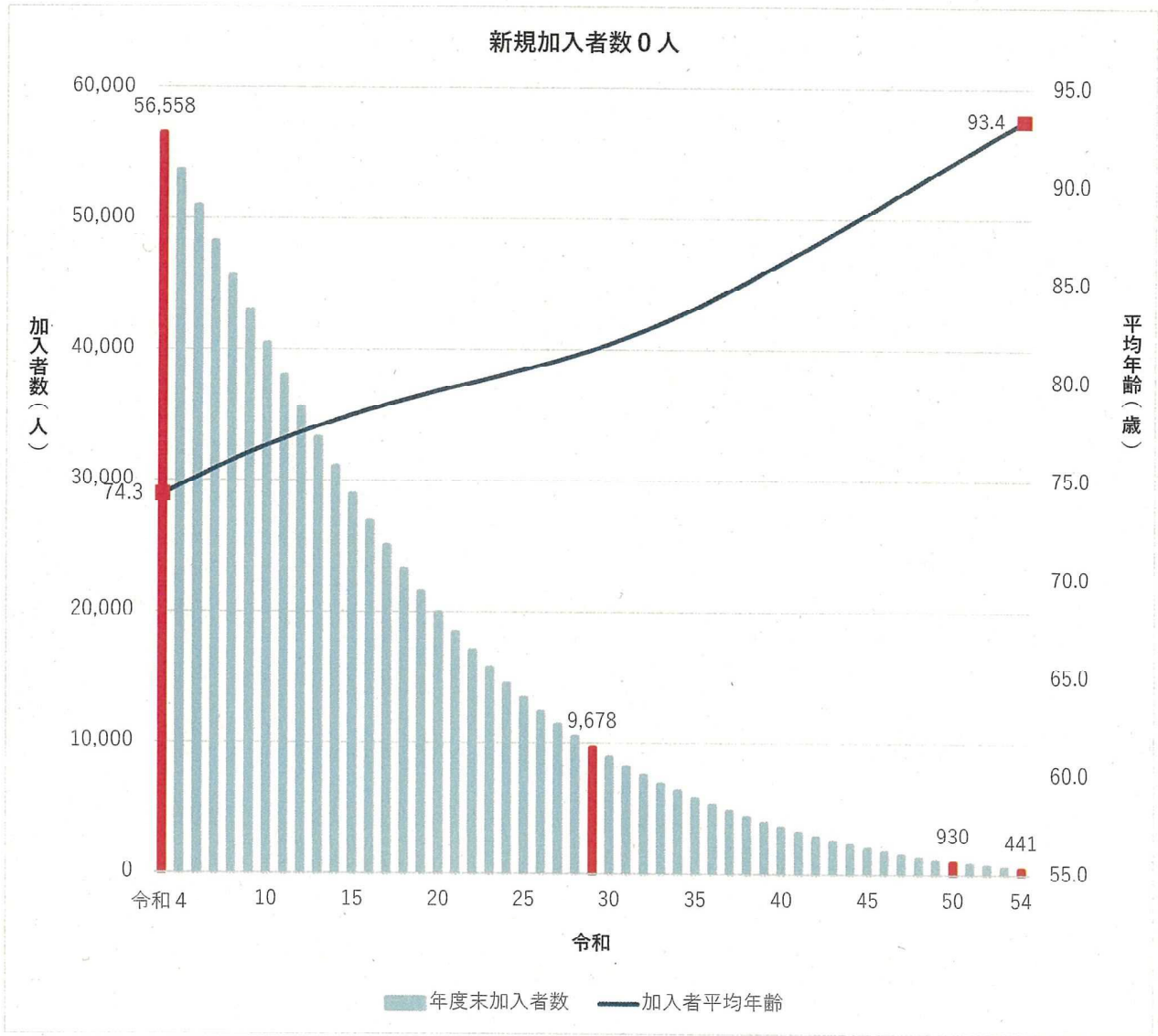
○ 人数の推移

(1) 加入者数の推移（現在加入者のみの場合）

(単位：人、歳)

年次	年度		年度始 加入者数	新規 加入者数	加入者 死亡数	障害者 死亡数	脱退者数	年度末 加入者数	保険料 免除者数	平均年齢
	令和	西暦								
0	4	2022					56,558	37,937	74.3	
1	5	2023	56,558	0	2,435	334	62	53,727	36,222	74.7
2	6	2024	53,727	0	2,356	326	58	50,987	34,694	75.2
3	7	2025	50,987	0	2,332	319	53	48,282	33,297	75.6
4	8	2026	48,282	0	2,297	311	49	45,624	31,870	76.0
5	9	2027	45,624	0	2,255	302	46	43,021	30,499	76.4
6	10	2028	43,021	0	2,206	293	42	40,481	30,020	76.8
7	11	2029	40,481	0	2,147	283	38	38,012	28,447	77.2
8	12	2030	38,012	0	2,082	272	35	35,624	26,656	77.5
9	13	2031	35,624	0	2,010	261	32	33,321	24,950	77.8
10	14	2032	33,321	0	1,932	249	29	31,111	23,252	78.1
11	15	2033	31,111	0	1,849	237	26	29,000	21,701	78.4
12	16	2034	29,000	0	1,764	224	23	26,988	20,171	78.7
13	17	2035	26,988	0	1,678	212	21	25,078	18,696	78.9
14	18	2036	25,078	0	1,590	199	18	23,270	17,425	79.2
15	19	2037	23,270	0	1,502	187	16	21,565	16,207	79.4
16	20	2038	21,565	0	1,414	175	14	19,962	15,307	79.6
17	21	2039	19,962	0	1,326	163	11	18,462	14,564	79.8
18	22	2040	18,462	0	1,241	151	10	17,061	13,936	80.0
19	23	2041	17,061	0	1,158	140	8	15,755	13,400	80.3
20	24	2042	15,755	0	1,077	130	6	14,542	12,914	80.5
21	25	2043	14,542	0	1,001	120	5	13,417	12,628	80.7
22	26	2044	13,417	0	929	110	4	12,373	11,723	80.9
23	27	2045	12,373	0	863	102	3	11,405	10,885	81.2
24	28	2046	11,405	0	801	93	3	10,508	10,139	81.4
25	29	2047	10,508	0	743	86	2	9,678	9,427	81.7
26	30	2048	9,678	0	689	79	1	8,908	8,740	82.0
27	31	2049	8,908	0	640	73	1	8,194	8,091	82.4
28	32	2050	8,194	0	595	67	1	7,530	7,455	82.7
29	33	2051	7,530	0	556	62	0	6,911	6,867	83.1
30	34	2052	6,911	0	522	58	0	6,331	6,299	83.5
31	35	2053	6,331	0	489	53	0	5,789	5,773	83.9
32	36	2054	5,789	0	457	49	0	5,282	5,272	84.3
33	37	2055	5,282	0	429	46	0	4,807	4,802	84.8
34	38	2056	4,807	0	402	43	0	4,363	4,358	85.2
35	39	2057	4,363	0	377	40	0	3,946	3,942	85.7
36	40	2058	3,946	0	354	37	0	3,555	3,552	86.2
37	41	2059	3,555	0	331	34	0	3,190	3,188	86.7
38	42	2060	3,190	0	309	32	0	2,849	2,849	87.2
39	43	2061	2,849	0	288	29	0	2,532	2,532	87.7
40	44	2062	2,532	0	267	27	0	2,238	2,238	88.2
41	45	2063	2,238	0	247	25	0	1,967	1,967	88.7
42	46	2064	1,967	0	226	23	0	1,717	1,717	89.2
43	47	2065	1,717	0	207	21	0	1,490	1,490	89.7
44	48	2066	1,490	0	188	19	0	1,283	1,283	90.3
45	49	2067	1,283	0	169	17	0	1,097	1,097	90.8
46	50	2068	1,097	0	152	15	0	930	930	91.3
47	51	2069	930	0	134	13	0	782	782	91.8
48	52	2070	782	0	118	12	0	652	652	92.4
49	53	2071	652	0	103	10	0	539	539	92.9
50	54	2072	539	0	89	9	0	441	441	93.4

○ 加入者数と平均年齢の推移（現在加入者のみの場合）



概要

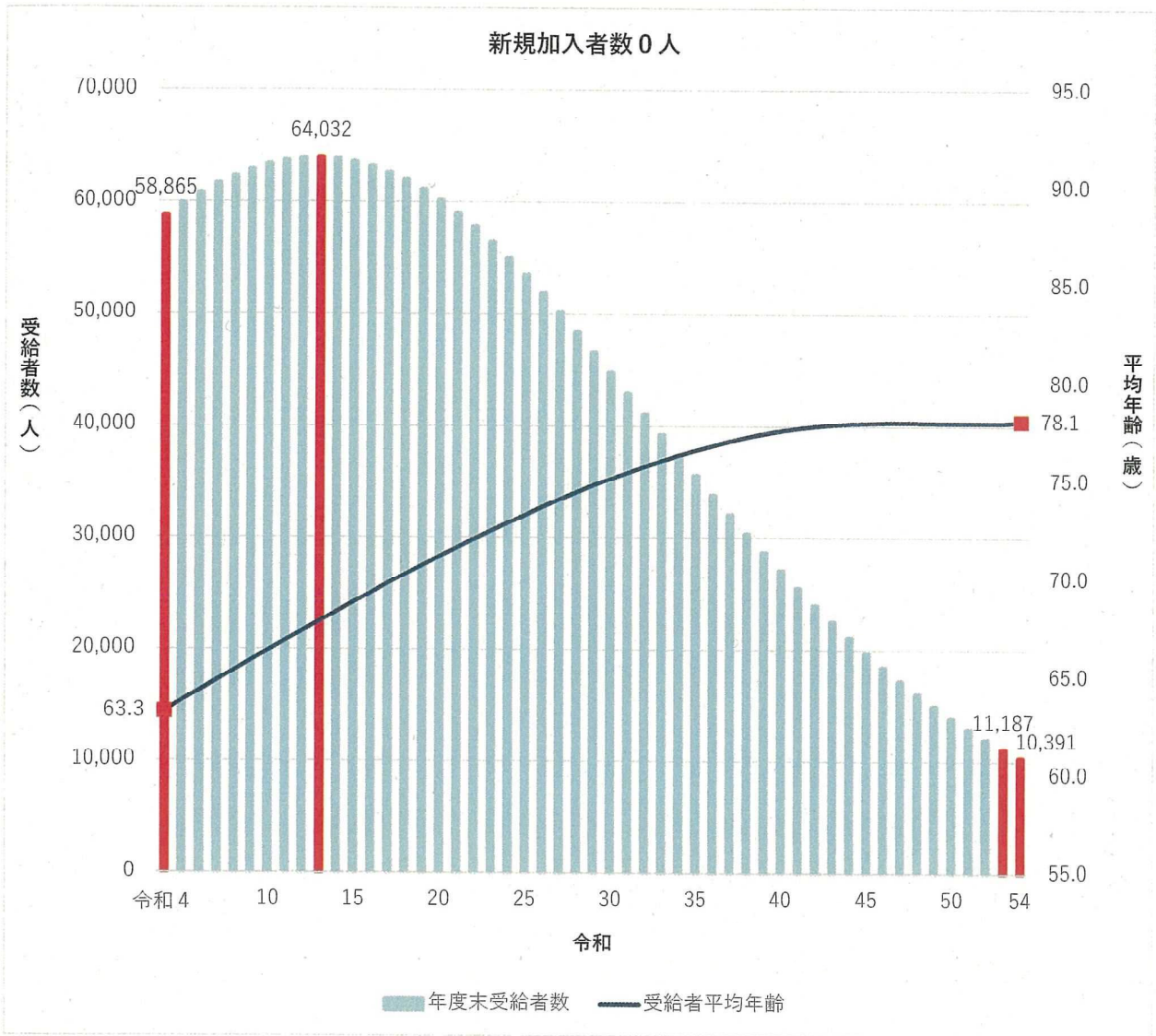
- ・ 新規加入者がいないことから、加入者数の減少速度が速く、令和 29 年度末には加入者が 1 万人を割り込み、令和 50 年度末には 1 千人を割り込む。
- ・ 平均年齢は、新規加入者がいないことから上昇し続ける。

(2) 年金受給者数の推移（現在加入者のみの場合）

(単位：人，歳，%)

年次	年度		年度始年金 受給者数	新 裁定者数	規 定者数	失権者数	年度末年金 受給者数	平均年齢	年金受給者数 ÷加入者数
	令和	西暦							
0	4	2022					58,865	63.3	104.1
1	5	2023	58,865	2,435		1,355	59,945	63.8	111.6
2	6	2024	59,945	2,356		1,429	60,871	64.3	119.4
3	7	2025	60,871	2,332		1,508	61,695	64.9	127.8
4	8	2026	61,695	2,297		1,586	62,407	65.4	136.8
5	9	2027	62,407	2,255		1,663	62,999	65.9	146.4
6	10	2028	62,999	2,206		1,740	63,464	66.4	156.8
7	11	2029	63,464	2,147		1,817	63,795	66.9	167.8
8	12	2030	63,795	2,082		1,891	63,985	67.4	179.6
9	13	2031	63,985	2,010		1,964	64,032	67.9	192.2
10	14	2032	64,032	1,932		2,034	63,929	68.4	205.5
11	15	2033	63,929	1,849		2,102	63,676	68.9	219.6
12	16	2034	63,676	1,764		2,168	63,272	69.3	234.4
13	17	2035	63,272	1,678		2,231	62,719	69.8	250.1
14	18	2036	62,719	1,590		2,292	62,017	70.3	266.5
15	19	2037	62,017	1,502		2,348	61,171	70.7	283.7
16	20	2038	61,171	1,414		2,397	60,187	71.2	301.5
17	21	2039	60,187	1,326		2,442	59,072	71.6	320.0
18	22	2040	59,072	1,241		2,480	57,832	72.1	339.0
19	23	2041	57,832	1,158		2,513	56,477	72.5	358.5
20	24	2042	56,477	1,077		2,536	55,018	72.9	378.3
21	25	2043	55,018	1,001		2,550	53,469	73.3	398.5
22	26	2044	53,469	929		2,554	51,845	73.7	419.0
23	27	2045	51,845	863		2,549	50,159	74.1	439.8
24	28	2046	50,159	801		2,545	48,415	74.5	460.7
25	29	2047	48,415	743		2,539	46,618	74.8	481.7
26	30	2048	46,618	689		2,519	44,789	75.2	502.8
27	31	2049	44,789	640		2,485	42,945	75.5	524.1
28	32	2050	42,945	595		2,442	41,098	75.8	545.8
29	33	2051	41,098	556		2,393	39,261	76.1	568.1
30	34	2052	39,261	522		2,341	37,442	76.4	591.4
31	35	2053	37,442	489		2,289	35,642	76.6	615.7
32	36	2054	35,642	457		2,231	33,868	76.9	641.2
33	37	2055	33,868	429		2,167	32,129	77.1	668.4
34	38	2056	32,129	402		2,104	30,427	77.3	697.5
35	39	2057	30,427	377		2,043	28,762	77.5	728.9
36	40	2058	28,762	354		1,975	27,140	77.6	763.4
37	41	2059	27,140	331		1,905	25,565	77.8	801.4
38	42	2060	25,565	309		1,833	24,041	77.9	843.7
39	43	2061	24,041	288		1,757	22,571	78.0	891.4
40	44	2062	22,571	267		1,689	21,149	78.0	944.9
41	45	2063	21,149	247		1,603	19,793	78.1	1,006.5
42	46	2064	19,793	226		1,521	18,498	78.1	1,077.2
43	47	2065	18,498	207		1,440	17,265	78.1	1,159.1
44	48	2066	17,265	188		1,354	16,099	78.1	1,254.8
45	49	2067	16,099	169		1,275	14,993	78.1	1,367.1
46	50	2068	14,993	152		1,199	13,946	78.0	1,499.4
47	51	2069	13,946	134		1,110	12,970	78.0	1,658.0
48	52	2070	12,970	118		1,036	12,052	78.1	1,847.9
49	53	2071	12,052	103		968	11,187	78.1	2,076.6
50	54	2072	11,187	89		885	10,391	78.1	2,358.0

○ 受給者数と平均年齢の推移（現在加入者のみの場合）



概要

- ・ 1, 0 0 0 人推計と比較すると、年次が進むごとに新規裁定者数の減少幅が大きくなり、受給者数は、令和 5 3 年度末に 1, 0 0 0 人推計の約半分(1. 1 万人)となる。
- ・ 平均年齢は上昇し続け、令和 4 3 年度以降はほぼ横ばいで推移する。



○ 保険収支予測

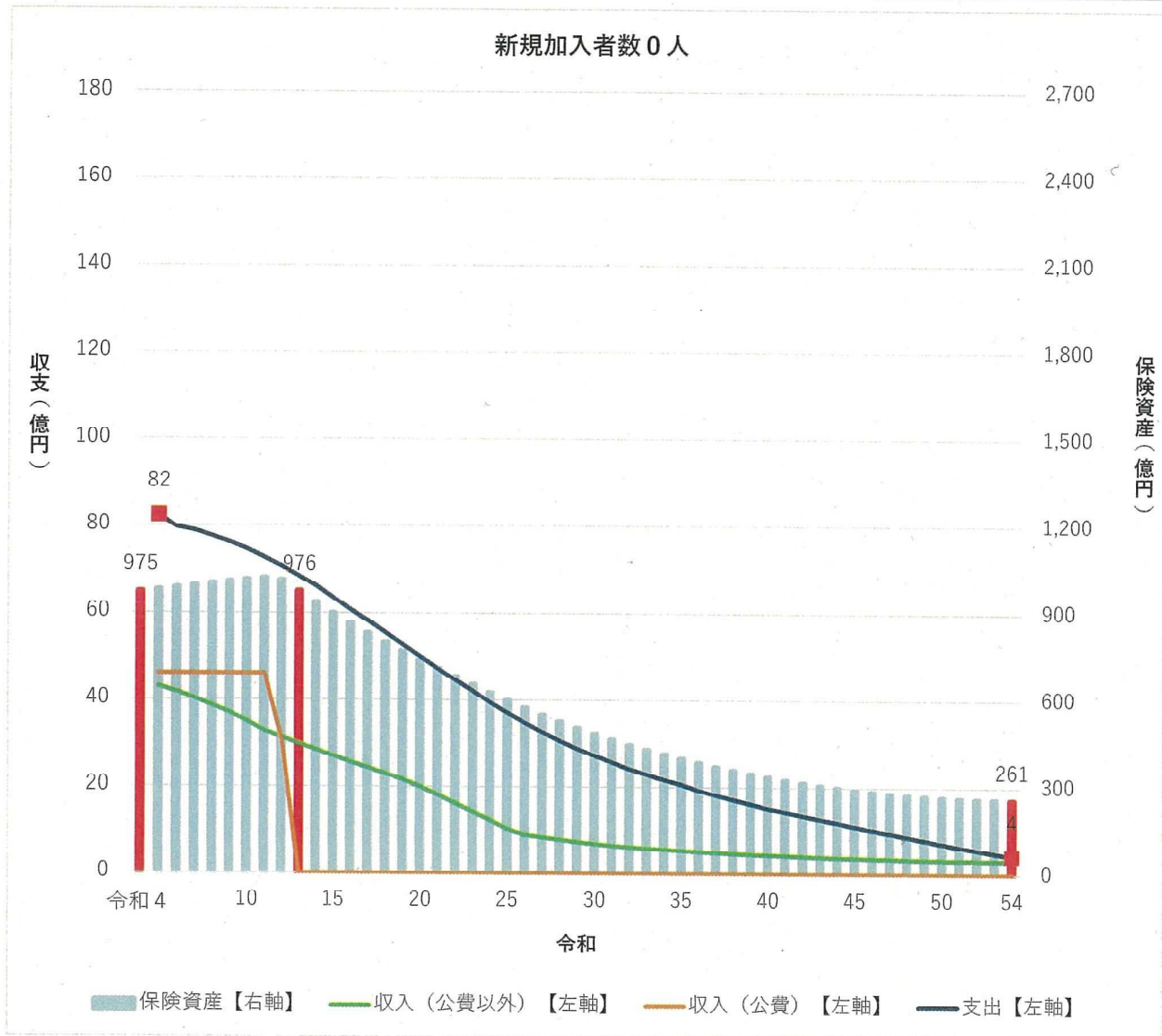
・運用利回り 1.5% (現在加入者のみの場合)

(単位：百万円)

年次	年度		収入				支出計	収支差引額	保険資産
	令和	西暦	収入計	保険料	公費負担	運用収入	(保険金、弔慰金、脱退一時金)		
0	4	2022						97,474	
1	5	2023	8,903	2,881	4,600	1,422	8,246	656	98,130
2	6	2024	8,781	2,748	4,600	1,433	7,976	806	98,936
3	7	2025	8,625	2,581	4,600	1,444	7,893	732	99,668
4	8	2026	8,465	2,410	4,600	1,455	7,762	703	100,371
5	9	2027	8,309	2,244	4,600	1,465	7,631	678	101,049
6	10	2028	8,093	2,018	4,600	1,475	7,468	625	101,674
7	11	2029	7,881	1,797	4,600	1,484	7,272	609	102,283
8	12	2030	6,243	1,672	3,100	1,471	7,071	-827	101,456
9	13	2031	2,993	1,579	0	1,414	6,840	-3,847	97,609
10	14	2032	2,848	1,491	0	1,357	6,606	-3,757	93,851
11	15	2033	2,707	1,405	0	1,302	6,343	-3,636	90,215
12	16	2034	2,568	1,320	0	1,249	6,077	-3,508	86,707
13	17	2035	2,439	1,241	0	1,197	5,821	-3,382	83,324
14	18	2036	2,304	1,155	0	1,148	5,545	-3,242	80,083
15	19	2037	2,165	1,064	0	1,101	5,272	-3,108	76,975
16	20	2038	2,008	952	0	1,055	4,996	-2,988	73,987
17	21	2039	1,820	809	0	1,012	4,722	-2,902	71,085
18	22	2040	1,624	655	0	969	4,456	-2,832	68,252
19	23	2041	1,427	500	0	927	4,208	-2,781	65,471
20	24	2042	1,234	348	0	886	3,947	-2,712	62,759
21	25	2043	1,036	190	0	846	3,704	-2,668	60,091
22	26	2044	902	95	0	807	3,479	-2,577	57,514
23	27	2045	846	76	0	770	3,261	-2,415	55,099
24	28	2046	791	56	0	735	3,072	-2,280	52,819
25	29	2047	740	38	0	702	2,888	-2,148	50,671
26	30	2048	696	25	0	671	2,725	-2,030	48,641
27	31	2049	657	16	0	641	2,576	-1,919	46,723
28	32	2050	624	10	0	614	2,419	-1,796	44,927
29	33	2051	594	7	0	588	2,298	-1,703	43,224
30	34	2052	567	4	0	563	2,174	-1,607	41,617
31	35	2053	542	3	0	540	2,069	-1,526	40,090
32	36	2054	519	1	0	518	1,940	-1,420	38,670
33	37	2055	498	1	0	497	1,829	-1,331	37,339
34	38	2056	479	1	0	478	1,725	-1,246	36,094
35	39	2057	461	0	0	460	1,624	-1,164	34,930
36	40	2058	444	0	0	444	1,520	-1,076	33,854
37	41	2059	428	0	0	428	1,437	-1,009	32,845
38	42	2060	414	0	0	414	1,351	-938	31,908
39	43	2061	400	0	0	400	1,271	-871	31,037
40	44	2062	388	0	0	388	1,189	-802	30,235
41	45	2063	376	0	0	376	1,109	-733	29,502
42	46	2064	366	0	0	366	1,029	-663	28,839
43	47	2065	357	0	0	357	948	-591	28,248
44	48	2066	348	0	0	348	868	-520	27,728
45	49	2067	341	0	0	341	790	-449	27,280
46	50	2068	335	0	0	335	712	-377	26,903
47	51	2069	330	0	0	330	637	-307	26,596
48	52	2070	326	0	0	326	564	-238	26,357
49	53	2071	323	0	0	323	495	-173	26,185
50	54	2072	321	0	0	321	431	-110	26,075

○ 保険収支と保険資産の推移（現在加入者のみの場合）

<公費>	
R 3 ~ R 1 0	: 4 6 億円
R 1 1	: 3 1 億円
R 1 2 ~	: (なし)



概要

- ・ 1, 0 0 0 人推計と比較すると、新規加入者がいないため、保険料収入は年々減少を続ける。
- ・ 支出も同様に減少を続ける。
- ・ 収支差はほぼマイナスとなり、資産を取り崩し続けることになる。

○ 年金収支予測

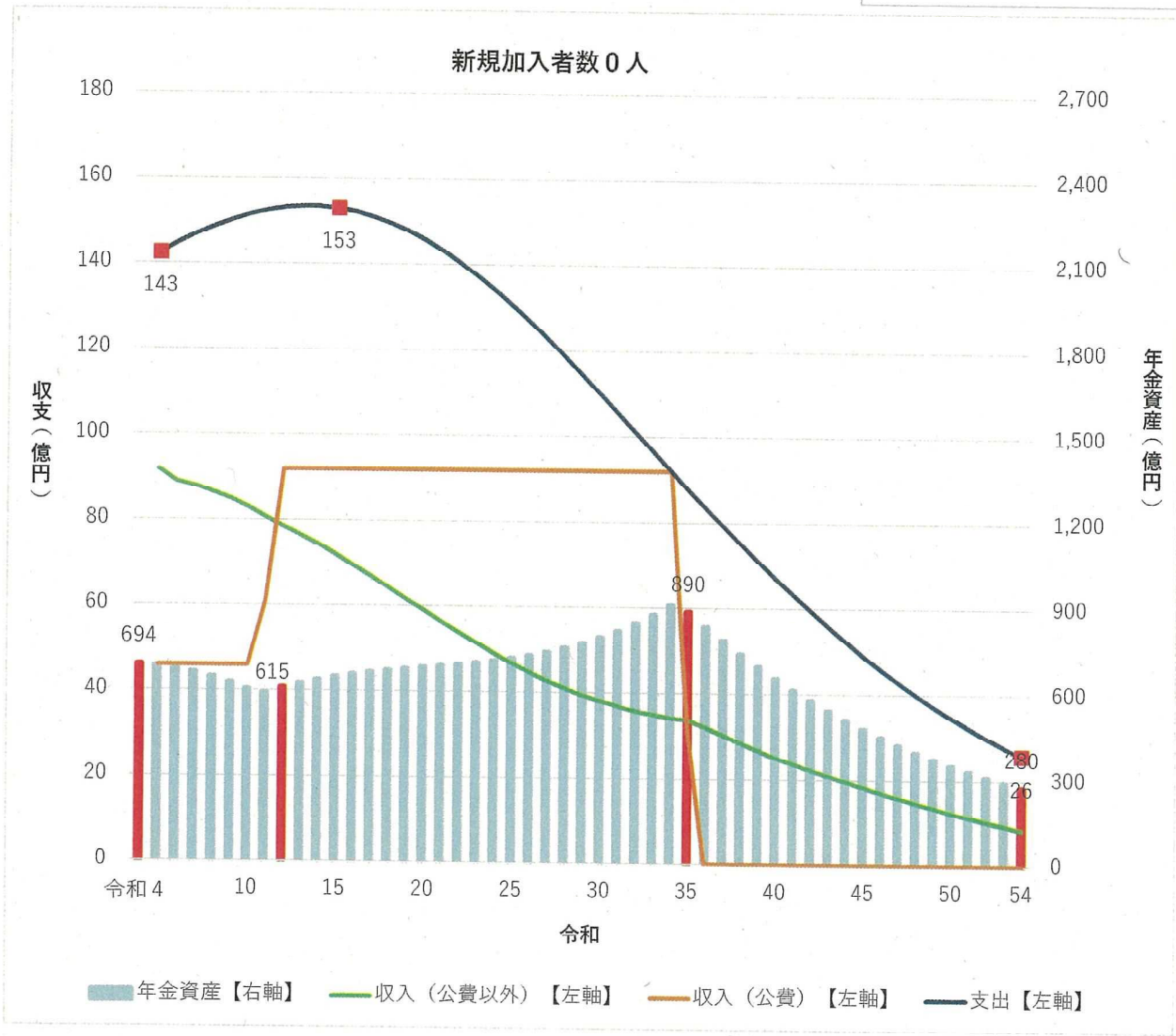
・運用利回り 1.5% (現在加入者のみの場合)

(単位：百万円)

年次	年度		収入				支出	収支差引額	年金資産
	令和	西暦	収入計	保険金	公費負担	運用収入			
0	4	2022						0	69,425
1	5	2023	13,790	8,194	4,600	996	14,257	-467	68,958
2	6	2024	13,510	7,925	4,600	985	14,498	-988	67,971
3	7	2025	13,412	7,843	4,600	968	14,708	-1,296	66,674
4	8	2026	13,259	7,713	4,600	946	14,892	-1,633	65,041
5	9	2027	13,102	7,582	4,600	920	15,049	-1,947	63,095
6	10	2028	12,908	7,420	4,600	888	15,176	-2,267	60,827
7	11	2029	14,178	7,226	6,100	852	15,271	-1,093	59,734
8	12	2030	17,060	7,026	9,200	834	15,334	1,726	61,461
9	13	2031	16,855	6,797	9,200	858	15,362	1,493	62,953
10	14	2032	16,643	6,564	9,200	879	15,355	1,288	64,241
11	15	2033	16,400	6,304	9,200	896	15,313	1,088	65,328
12	16	2034	16,150	6,039	9,200	911	15,234	917	66,245
13	17	2035	15,910	5,786	9,200	924	15,119	791	67,036
14	18	2036	15,647	5,512	9,200	935	14,968	679	67,715
15	19	2037	15,386	5,241	9,200	944	14,783	603	68,318
16	20	2038	15,120	4,967	9,200	953	14,563	557	68,875
17	21	2039	14,856	4,695	9,200	961	14,311	545	69,420
18	22	2040	14,600	4,431	9,200	970	14,028	572	69,991
19	23	2041	14,363	4,184	9,200	979	13,717	646	70,637
20	24	2042	14,113	3,924	9,200	989	13,379	734	71,371
21	25	2043	13,883	3,682	9,200	1,001	13,018	865	72,235
22	26	2044	13,674	3,459	9,200	1,015	12,638	1,036	73,271
23	27	2045	13,474	3,242	9,200	1,032	12,240	1,234	74,505
24	28	2046	13,307	3,055	9,200	1,052	11,829	1,478	75,983
25	29	2047	13,149	2,873	9,200	1,076	11,404	1,745	77,728
26	30	2048	13,015	2,711	9,200	1,104	10,969	2,046	79,774
27	31	2049	12,900	2,563	9,200	1,137	10,528	2,372	82,146
28	32	2050	12,782	2,407	9,200	1,175	10,085	2,697	84,842
29	33	2051	12,704	2,286	9,200	1,218	9,643	3,061	87,903
30	34	2052	12,629	2,163	9,200	1,266	9,204	3,425	91,328
31	35	2053	6,478	2,059	3,100	1,320	8,770	-2,292	89,036
32	36	2054	3,218	1,930	0	1,288	8,341	-5,123	83,913
33	37	2055	3,033	1,820	0	1,213	7,920	-4,887	79,026
34	38	2056	2,858	1,716	0	1,142	7,507	-4,648	74,378
35	39	2057	2,691	1,616	0	1,075	7,103	-4,412	69,966
36	40	2058	2,523	1,512	0	1,011	6,708	-4,185	65,781
37	41	2059	2,380	1,430	0	950	6,325	-3,944	61,837
38	42	2060	2,238	1,345	0	893	5,953	-3,715	58,122
39	43	2061	2,105	1,265	0	839	5,593	-3,489	54,633
40	44	2062	1,973	1,184	0	789	5,246	-3,274	51,359
41	45	2063	1,846	1,104	0	742	4,913	-3,067	48,292
42	46	2064	1,721	1,023	0	698	4,595	-2,874	45,418
43	47	2065	1,600	943	0	656	4,292	-2,692	42,726
44	48	2066	1,481	864	0	617	4,004	-2,523	40,204
45	49	2067	1,367	786	0	581	3,731	-2,364	37,839
46	50	2068	1,255	709	0	547	3,473	-2,217	35,622
47	51	2069	1,148	634	0	515	3,230	-2,081	33,541
48	52	2070	1,046	561	0	485	3,003	-1,956	31,584
49	53	2071	949	493	0	457	2,789	-1,839	29,745
50	54	2072	859	429	0	430	2,589	-1,731	28,014

○ 年金収支と年金資産の推移（現在加入者のみの場合）

<公費>	
R 5 ~ R 1 0	: 4 6 億 円
R 1 1	: 6 1 億 円
R 1 2 ~ R 3 4	: 9 2 億 円
R 3 5	: 3 1 億 円

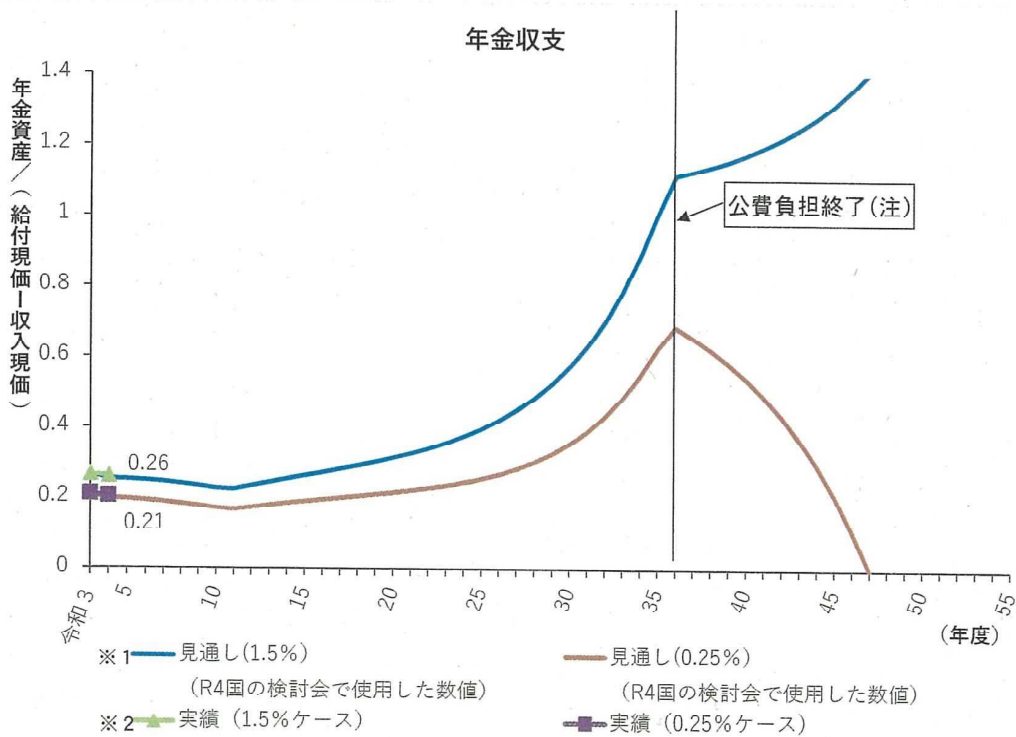
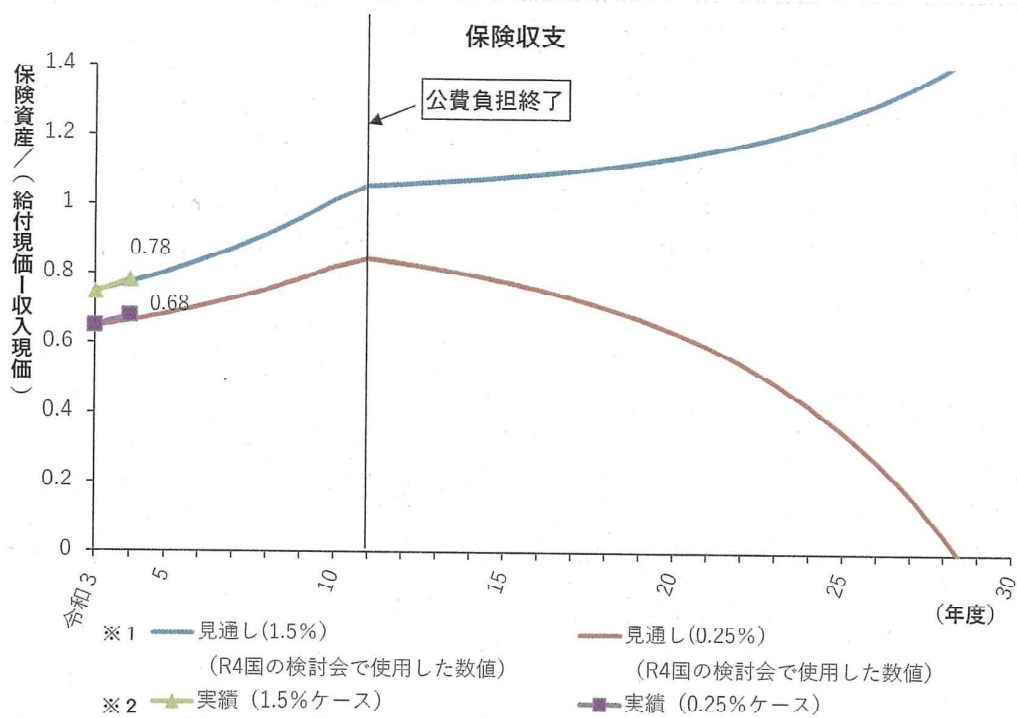


概要

- ・ 1, 0 0 0 人推計と比較すると、保険金収入は年々減少を続ける。
- ・ 収支差は、公費が増額となる令和12年度以降プラスとなるが、公費が終了する令和35年度以降はマイナスとなり、資産を取り崩し続けることとなる。

## 5 積立比率について

【平成19年度以前加入者分】



(注) R4年度国の検討会時の公費投入はR36年度まで(R5年4月国からの通知においてR35年度までとされた)

## 【平成19年度以前加入者分】

### ※1 将来見通し

グラフ中における各線については、令和4年度の国の見直しの検討において用いられた基礎数値に基づき示された将来見通しのうち、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%（標準利率）としたケースである。

[運用利回り1.5%ケース]

国の将来見通し(令和4年度)：保険収支：0.77      年金収支：0.25

[運用利回り0.25%ケース(参考)]

国の将来見通し(令和4年度)：保険収支：0.66      年金収支：0.20

### ※2 実績

各実績については、本推計の基礎数値を用いて、運用利回りを1.5%としたケースと0.25%（標準利率）としたケースで算出したもの。

[運用利回り1.5%ケース]

令和4年度実績：保険収支：0.78      年金収支：0.26

[運用利回り0.25%ケース(参考)]

令和4年度実績：保険収支：0.68      年金収支：0.21

## 【平成20年度以降加入者分】

[運用利回り1.5%ケース]

令和4年度実績：保険収支：1.18      年金収支：1.01

[運用利回り0.25%ケース(参考)]

令和4年度実績：保険収支：0.97      年金収支：0.82

## 【結論】

平成19年度以前加入者分については、公費投入期間中であることから保険収支、年金収支ともに「1」を割っているものの、令和4年度における実績値は、国の将来見通を上回っている。

また、平成20年度以降加入者分については、1.5%ケースにおいて保険収支、年金収支ともに積立比率が「1」を上回っている。

## 6 責任準備金について（令和4年度末現在）

(単位：百万円)

	令和3年度	令和4年度	増減
① 年金の現価相当額 [受給者分]	227,546	228,583	1,037
② 公費負担現価 [受給者分]	164,733	159,073	△ 5,660
③ 責任準備金の額 (①-②)	62,814	69,510	6,697
④ 年金資産額	72,217	69,425	△ 2,792
⑤ 繰越剰余(欠損)金 (④-③)	9,403	△ 85	△ 9,489

(注) 単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。  
※ 予定利率は、1.5%である。

(単位：百万円)

	令和3年度	令和4年度	増減
⑥ 公費負担現価の総額	203,576	193,899	△ 9,676
⑦ 公費負担現価 [加入者分(※2)]	38,843	34,827	△ 4,016
② 公費負担現価 [受給者分(※1)] (⑥-⑦)	164,733	159,073	△ 5,660

(注) 単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。  
(※1) 受給者分とは、当該年度末における受給者のうち、平成19年度以前加入口に係るものである。  
(※2) 加入者分とは、当該年度末における加入者のうち、平成19年度以前加入口に係るものである。

(公費負担現価 [加入者分] の算定)

(単位：百万円)

	令和3年度	令和4年度	増減
⑧ 年金の現価相当額 [加入者分]	161,296	151,070	△ 10,226
⑨ 保険金現価	122,454	116,243	△ 6,210
⑦ 公費負担現価 [加入者分] (⑧-⑨)	38,843	34,827	△ 4,016

(注) 単位未満端数四捨五入のため、合計等が一致しないことがある。  
※ 当該年度末における加入者のうち、平成19年度以前加入口に係るものである。

## ○ 心身障害者扶養保険事業財務状況検討会委員名簿

(50音順、敬称略)

氏 名	所 属・職 名
佐々木 桃 子	一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 会長
清 水 時 彦	Fiducia株式会社 代表取締役
鈴 木 裕 子	公認会計士
○ 栃本 一三郎	放送大学客員教授
◎ 村 山 令 二	健康保険組合連合会 参与 (公社) 日本年金数理人会 副理事長

◎印は座長、○は副座長